

# 小池地区埋蔵文化財調査報告書(3)

小池麻生遺跡 (2541-4地点)

小池麻生遺跡 (富士見2543地点)

小池麻生遺跡 (2500地点)

小池麻生遺跡 (上人塚74-1地点)

小池麻生遺跡 (上人塚74-1地点) <二次>

小池麻生遺跡 (上人塚63地点)



# 小池地区埋蔵文化財調査報告書(3)

小池麻生遺跡 (2541-4地点)

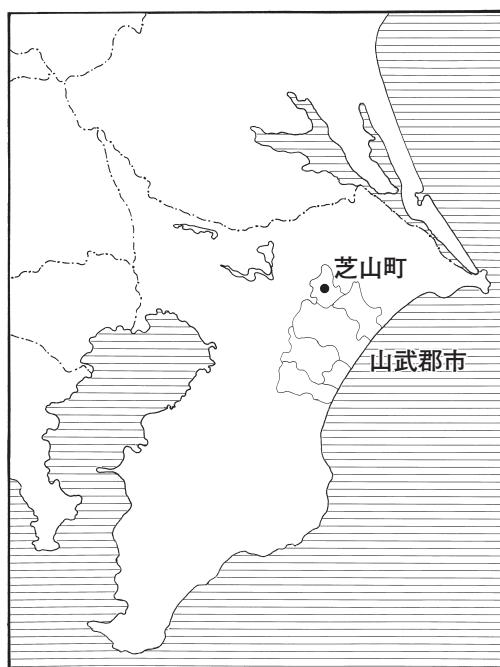
小池麻生遺跡 (富士見2543地点)

小池麻生遺跡 (2500地点)

小池麻生遺跡 (上人塚74-1地点)

小池麻生遺跡 (上人塚74-1地点) <二次>

小池麻生遺跡 (上人塚63地点)





## 例　　言

1. 本書は、航空機騒音移転に伴う個人住宅建設に先行して実施された「小池麻生遺跡（2541-4地点）」「小池麻生遺跡（富士見2543地点）」「小池麻生遺跡（2500地点）」「小池麻生遺跡（上人塚74-1地点）」と個人住宅建設に先行して実施された「小池麻生遺跡（上人塚74-1地点）<二次>」及び芝山小学校学童クラブ建設に先行して実施された「小池麻生遺跡（上人塚63地点）」の小池地区埋蔵文化財調査報告書（3）である。今回、大字名で新井田が含まれているが、小池麻生遺跡の範疇に所在することから、小池地区埋蔵文化財調査報告書（3）として報告する。

2. 本書に所収される内容は、

- ・千葉県山武郡芝山町小池字麻生2541番地4に所在する、「小池麻生遺跡（2541-4地点）」
- ・千葉県山武郡芝山町小池字富士見2543番地に所在する、「小池麻生遺跡（富士見2543地点）」
- ・千葉県山武郡芝山町小池字麻生2500番地に所在する、「小池麻生遺跡（2500地点）」
- ・千葉県山武郡芝山町新井田字上人塚74番地1他に所在する、「小池麻生遺跡（上人塚74-1地点）」及び「小池麻生遺跡（上人塚74-1地点）<二次>」
- ・千葉県山武郡芝山町新井田字上人塚63番地に所在する、「小池麻生遺跡（上人塚63地点）」の発掘調査の成果である。

なお、本遺跡は、周辺を含めて数多くの発掘調査が実施されてきたので、字名及び地番を入れることによって、調査地点を明確にした。しかし、「小池麻生遺跡（上人塚74-1地点）」は、平成6年度に財山武郡市文化財センターが実施しており、その後、平成23年度に同一地番の隣接地を芝山町教育委員会が実施することになり、新たに<二次>と呼称し、調査地点を明確にした。

3. 整理及び本報告書作成にあたって、組織は下記の通りである。

《芝山町教育委員会》（令和3年度）

教育長：内田　誠

教育課長：行川　永、社会教育・文化振興担当課長：奥住　淳、文化振興係長：山崎一矢、

芝山古墳・はにわ博物館副館長：小川欣也、学芸員：伝田郁夫、会計年度任用職員：渡辺修司

4. 各遺跡の発掘調査の調査機関等は、本文中に記載した。整理作業及び報告書刊行は、渡辺が担当し、令和3年度に実施した。

5. 出土遺物、図面等の記録類は、芝山町教育委員会で保管している。

6. 本書第1図に使用した地形図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図『多古』の一部に加筆したものを使用した。

7. 本書図版1に使用したものは京葉測量株式会社による平成20年1月撮影のものである。

8. 発掘調査から報告書の刊行に至るまで、下記の諸機関からご協力を賜った。ここに記して謝意を表します。

千葉県教育庁教育振興部文化財課、西山太郎、宮内勝巳

## 凡　　例

1. 本書で用いた遺構配置図は、公共座標（日本測地系）を基準として作成し、方位は全て座標北を示す。
2. 遺構挿図中の水系レベルの数値は、標高値を示す。
3. 計測値の（ ）内は、推定値及び現存する値を示す。
4. 土層断面図における攪乱の表示をKとした。
5. ○ 土製品　　□ 石製品　　■ 鉄器



# 本文目次

## 例　言

第1章　遺跡の位置と環境	1
第2章　小池麻生遺跡（2541-4地点）	4
1. 調査に至る経緯	4
2. 検出された遺構と遺物	4
第3章　小池麻生遺跡（富士見2543地点）	10
1. 調査に至る経緯	10
2. 検出された遺構と遺物	11
第4章　小池麻生遺跡（2500地点）	18
1. 調査に至る経緯	18
2. 検出された遺構と遺物	18
第5章　小池麻生遺跡（上人塚74-1地点）	20
1. 調査に至る経緯	20
2. 検出された遺構と遺物	20
第6章　小池麻生遺跡（上人塚74-1地点）<二次>	20
1. 調査に至る経緯	20
2. 検出された遺構と遺物	21
第7章　小池麻生遺跡（上人塚63地点）	22
1. 調査に至る経緯	22
2. 検出された遺構と遺物	22

# 挿図目次

第1図　小池麻生遺跡と周辺遺跡の位置	
第2図　調査区及び周辺の地形	1
第3図　小池麻生遺跡遺構配置図（1）	2
第4図　小池上人塚古墳群・小池麻生遺跡遺構配置図（2）	3
第5図　小池麻生遺跡（2541-4地点）トレンチ及び遺構配置図	5
第6図　H-001遺構及び遺物実測図（1）	6
第7図　H-001遺物実測図（2）	7
第8図　H-001遺物実測図（3）	8
第9図　遺構外遺物実測図	8
第10図　小池麻生遺跡（富士見2543地点）トレンチ及び遺構配置図	10
第11図　H-001遺構及び遺物実測図	11
第12図　H-002遺構及び遺物実測図	12
第13図　H-003・004遺構実測図	14

第14図	H-003・004遺物実測図	15
第15図	H-005・006遺構及びH-005・006・遺構外遺物実測図	17
第16図	小池麻生遺跡（2500地点）トレンチ配置図	19
第17図	小池麻生遺跡（2500地点）遺物実測図	19
第18図	小池麻生遺跡（上人塚74-1地点）・小池麻生遺跡（上人塚74-1地点）<二次> トレンチ配置図及び遺物実測図	21
第19図	小池麻生遺跡（上人塚63地点）塚及び確認トレンチ配置図	23
第20図	小池麻生遺跡（上人塚63地点）断面図	24

## 表 目 次

第1表	小池麻生遺跡周辺の遺跡一覧表	2
第2表	小池麻生遺跡（2541-4地点）出土遺物観察表	9
第3表	小池麻生遺跡（富士見2543地点）H-001出土遺物観察表	11
第4表	小池麻生遺跡（富士見2543地点）H-002出土遺物観察表	13
第5表	小池麻生遺跡（富士見2543地点）H-003出土遺物観察表（1）	14
第6表	小池麻生遺跡（富士見2543地点）H-003出土遺物観察表（2）	15
第7表	小池麻生遺跡（富士見2543地点）H-004出土遺物観察表	15
第8表	小池麻生遺跡（富士見2543地点）H-005出土遺物観察表	16
第9表	小池麻生遺跡（富士見2543地点）H-006出土遺物観察表	16
第10表	小池麻生遺跡（富士見2543地点）遺構外出土遺物観察表	16
第11表	小池麻生遺跡（2500地点）第1・2・4トレンチ出土遺物観察表	18
第12表	小池麻生遺跡（上人塚74-1地点）<二次>第1トレンチ出土遺物観察表	21

## 図 版 目 次

### 図版 1

遺跡周辺航空写真（平成20年1月4日撮影）

### 図版 2 小池麻生遺跡（2541-4地点）

1. 調査前
2. H-001遺物出土状況（1）
3. H-001遺物出土状況（2）
4. H-001カマド遺物出土状況（1）
5. H-001カマド遺物出土状況（2）（西より）
6. H-001貯蔵穴遺物出土状況

### 図版 3 小池麻生遺跡（2541-4地点）

1. H-001出土遺物（1）

### 図版 4 小池麻生遺跡（2541-4地点）

1. H-001出土遺物（2）

2. 遺構外出土遺物

図版5 小池麻生遺跡（富士見2543地点）

1. H-001
2. H-002
3. H-003
4. H-004
5. H-005
6. H-006
7. H-003～H-006
8. 調査風景

図版6 小池麻生遺跡（富士見2543地点）

H-001・H-002・H-003出土遺物（1）

図版7 小池麻生遺跡（富士見2543地点）

H-003・H-004・H-005・H-006・遺構外出土遺物（2）

図版8 小池麻生遺跡（2500地点）

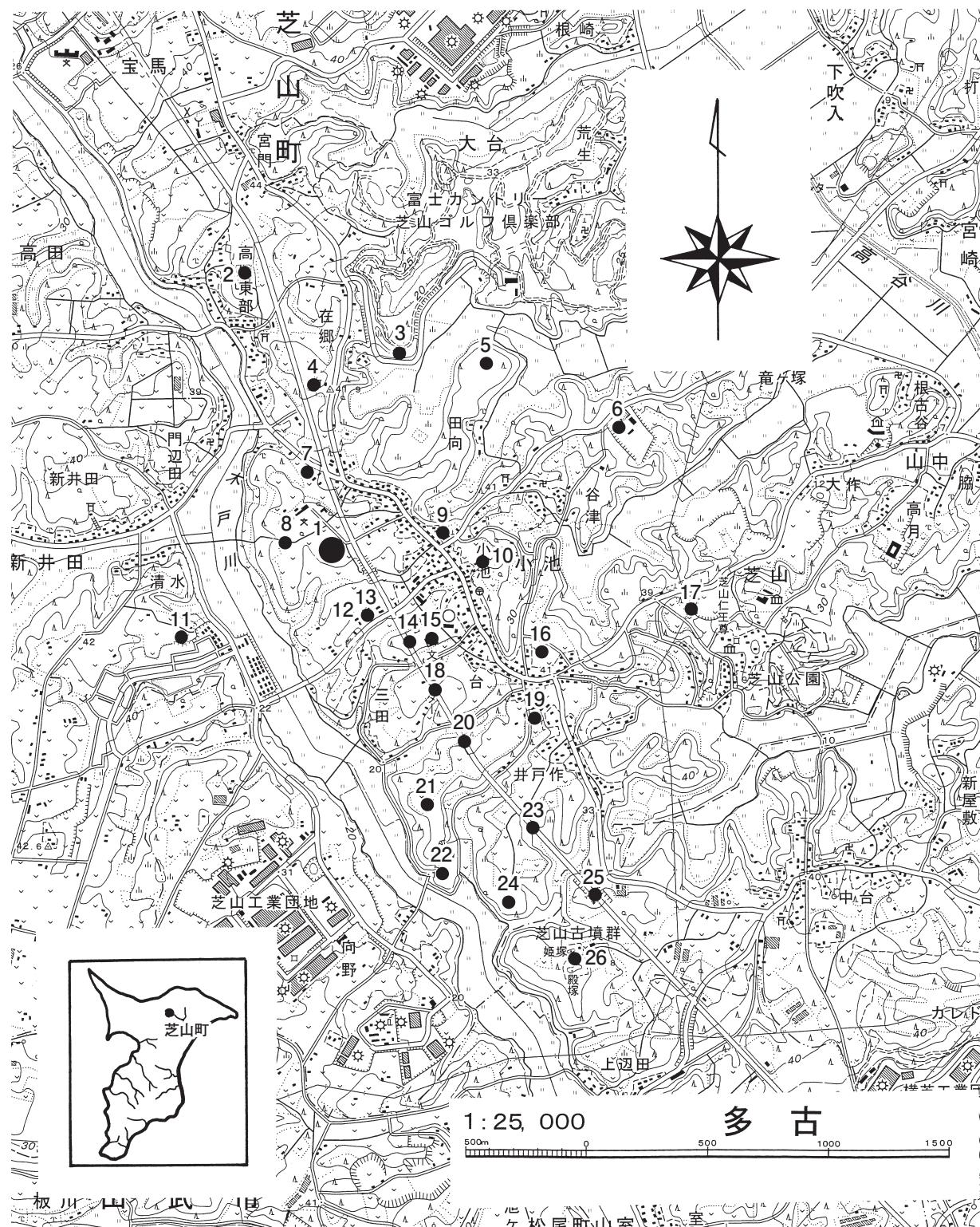
1. 調査前
2. 第3トレンチ（北東より）
3. 第4トレンチ（北東より）
4. 調査風景
5. 第1トレンチ・第2トレンチ・第4トレンチ出土遺物

図版9 小池麻生遺跡（上人塚74-1地点）・小池麻生遺跡（上人塚74-1地点）<二次>

1. 調査前
2. 第1トレンチ
3. 第4トレンチ
4. 第7トレンチ
1. 調査区近景
2. 第1トレンチ（東より）
3. 第3トレンチ（南より）
4. 第1トレンチ出土遺物

図版10 小池麻生遺跡（上人塚63地点）

1. 調査前
2. 塚トレンチ（北より）
3. 塚断面（南より）
4. 塚断面（東より）
5. トレンチ（南より）
6. 塚断面（東より）
7. 第5トレンチ（北より）
8. 調査風景



1. 小池麻生遺跡
2. 高田權現遺跡
3. 清水遺跡
4. 宮門遺跡
5. 田向城
6. 谷津古墳群
7. 猪ノ堤遺跡
8. 小池上人塚古墳群
9. 小池木戸脇遺跡
10. 丸辻遺跡
11. 清水台遺跡
12. 小池台遺跡
13. 小池地蔵遺跡
14. 小池新林遺跡
15. 三田遺跡
16. 井戸作遺跡
17. 新起遺跡
18. 御田台遺跡
19. 小池古墳群
20. 小池元高台遺跡
21. 京寺遺跡
22. 三田古墳群
23. 小池向田遺跡
24. 舟塚古墳群
25. 鯉ヶ窪遺跡
26. 芝山（中台）古墳群

# 第1章 遺跡の位置と環境

小池麻生遺跡が所在する芝山町は、千葉県北部中央、山武郡の最北部で成田国際空港の南東側に位置し、南北に細長く伸びる内陸部の町である。近隣の市町は、北に成田市、東に多古町、南は山武市、横芝光町、西に富里市にそれぞれ接し、下総台地の東部に位置し、森林や畠地が広がる。

芝山町は東京都心から西約65km圏内、県都千葉市までは西南西約28km、九十九里海岸（太平洋）に西南約15kmにあたる。当地域は、比較的自然に恵まれ、古くから人々の生活の痕跡が多く残されている地域である。

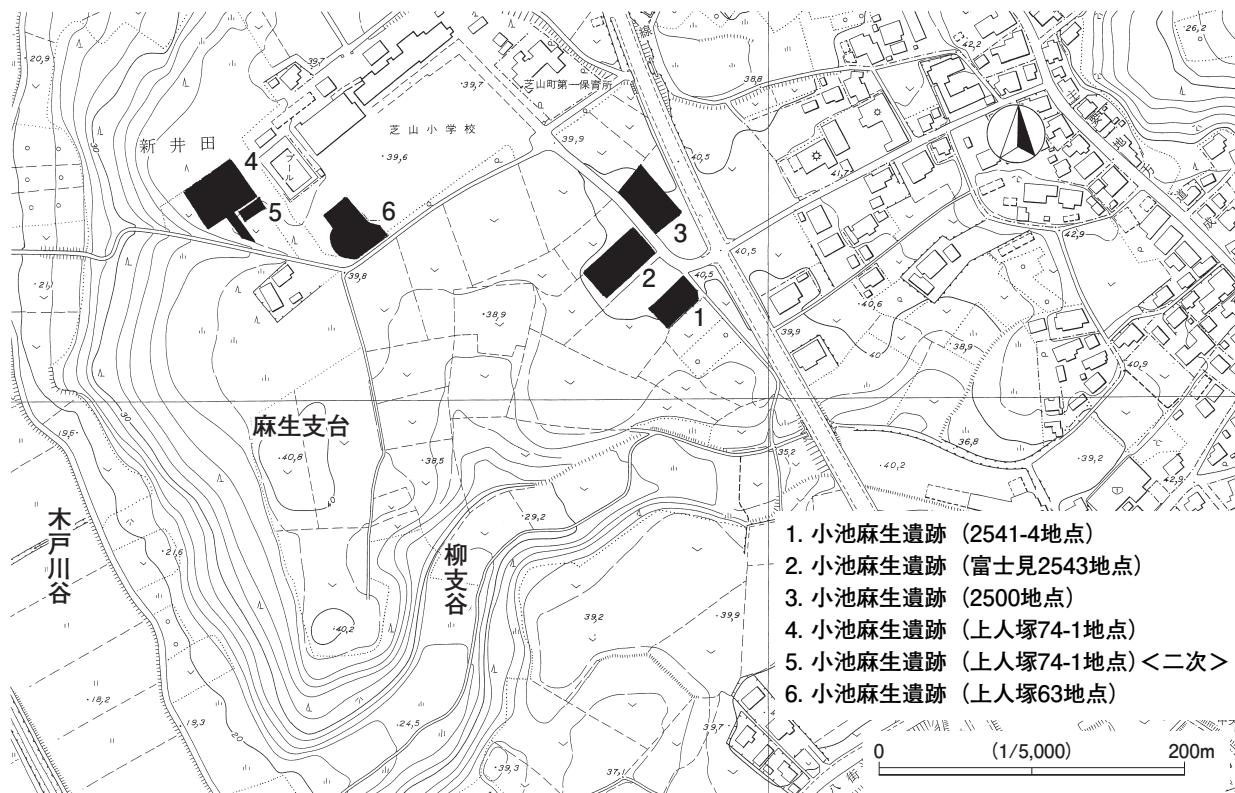
地形的には、町域全体に洪積層からなる下総台地の東部に位置し、北東側には栗山川の支流である高谷川が、南西側は成田市三里塚付近に源を発する木戸川がそれぞれ町を縦断し、九十九里海岸平野を経て太平洋に注いでいる。

小池麻生遺跡は、山武郡芝山町小池地先で両河川に挟まれた松尾台に位置し、木戸川谷・中流左岸に面した長作支谷と柳支谷に挟まれた麻生支台にあたり、標高約40m前後を測る台地上に立地している。

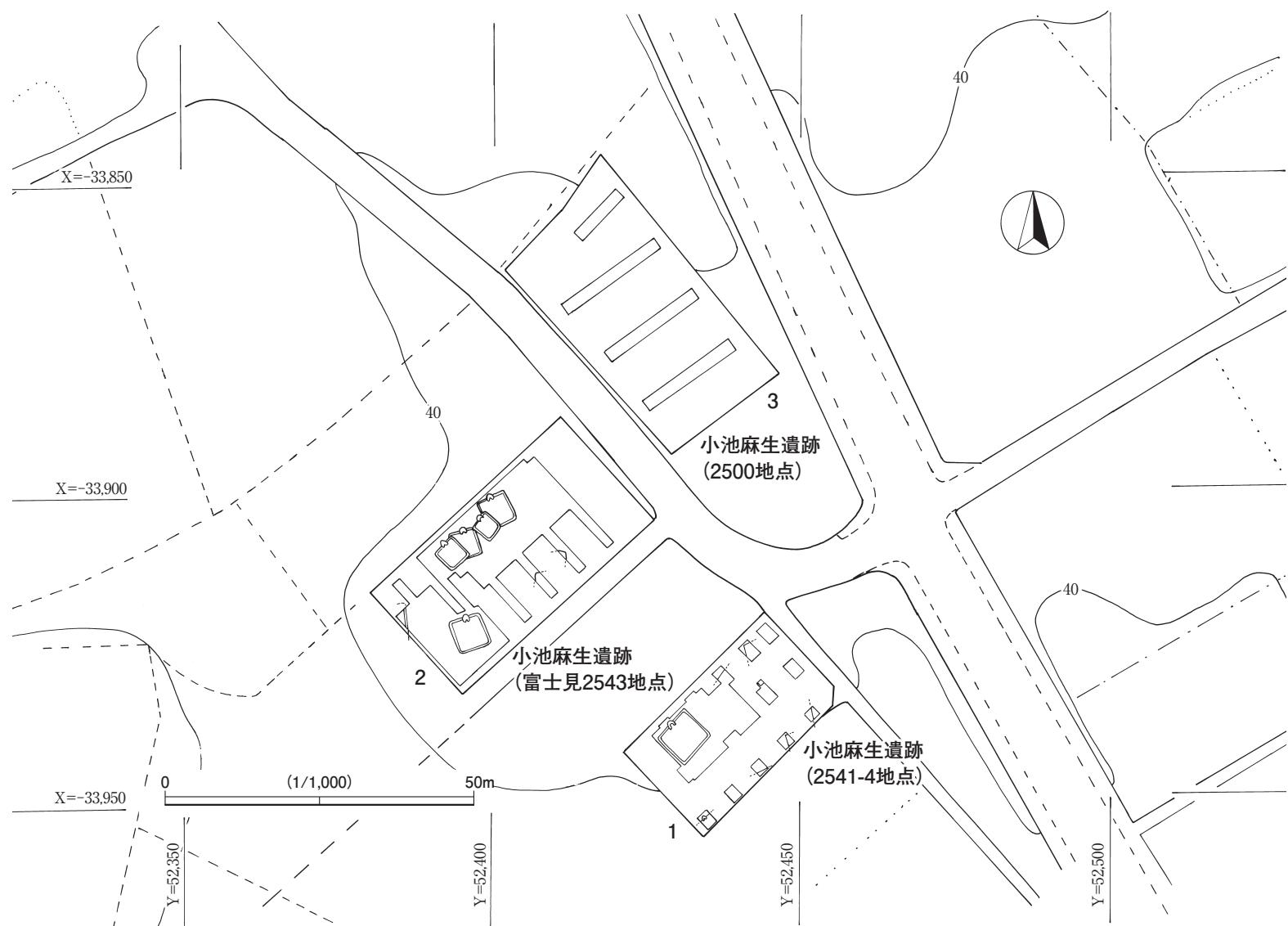
本遺跡付近は、芝山町役場から北北西へ約500m、芝山鉄道「芝山千代田駅」より南へ約6.2km、成田国際空港「空港第2ビル」より南南東に約9.5kmの距離にあり、県道62号線が中央を通る。

町内を一瞥すると、旧石器時代から江戸時代まで170カ所を超える遺跡があり、県内でも遺跡の宝庫として知られている。芝山町周辺で100基程の古墳が残されているがかつては、500基を超える古墳があったと推定される。

周辺では過去に、調査会・(財)千葉県文化財センター・(財)山武郡市文化財センター・芝山町教育委員会により発掘調査が実施されている。



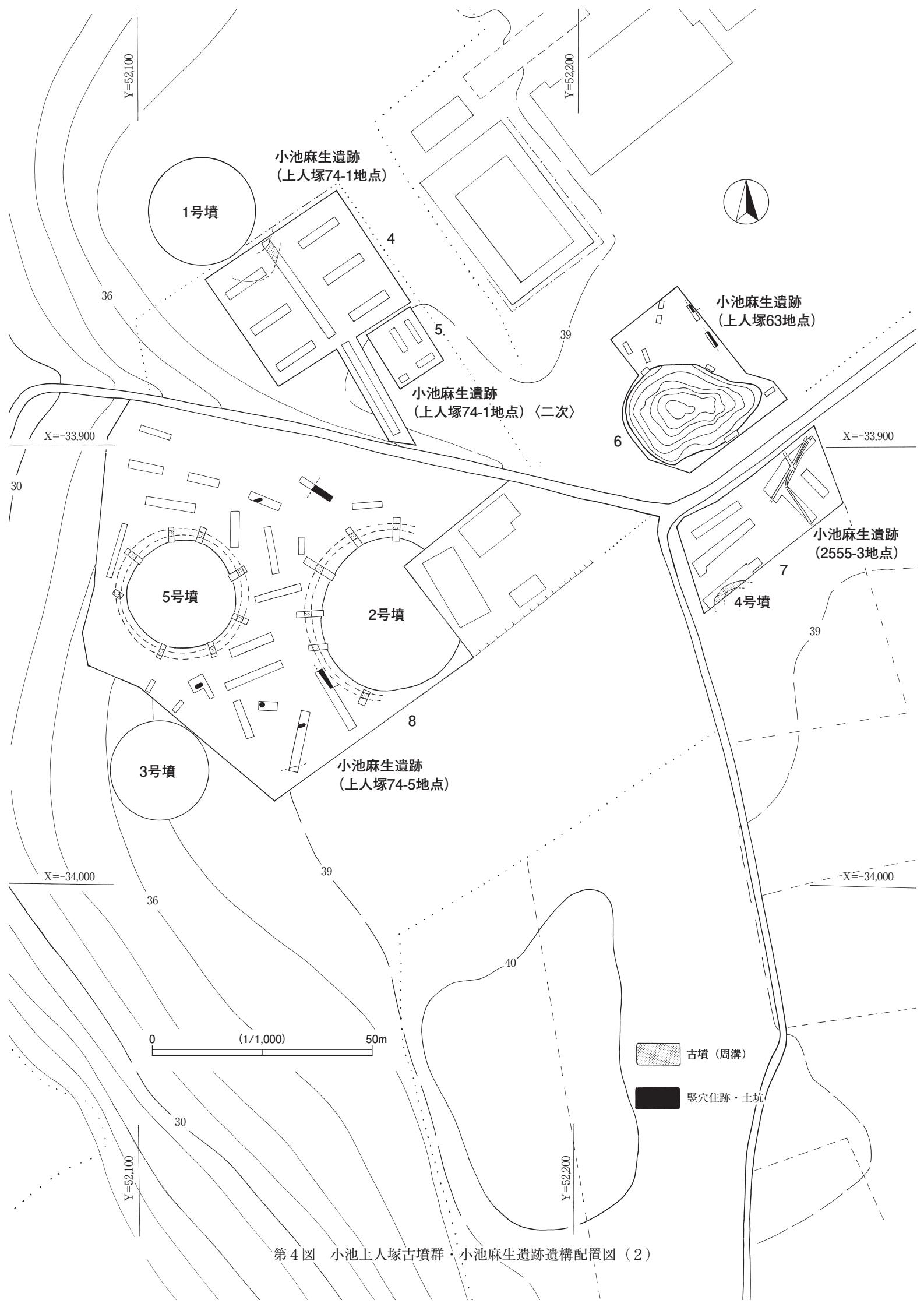
第2図 調査区及び周辺の地形



第3図 小池麻生遺跡遺構配置図（1）

第1表 小池麻生遺跡周辺の遺跡一覧表

No.	遺跡名	所在地	参考文献	時代
1	小池麻生遺跡 (2541-4地点)	芝山町小池字麻生2541-4	本書所収	縄文 古墳
2	小池麻生遺跡 (富士見2543地点)	芝山町小池字富士見2543-5他	本書所収	古墳
3	小池麻生遺跡 (2500地点)	芝山町小池字麻生2500	本書所収	縄文 古墳
4	小池麻生遺跡 (上人塚74-1地点)	芝山町新井田字上人塚74-1他	本書所収	古墳
5	小池麻生遺跡 (上人塚74-1地点) <二次>	芝山町新井田字上人塚74-1他	本書所収	縄文
6	小池麻生遺跡 (上人塚63地点)	芝山町新井田字上人塚63他	本書所収	縄文 古墳 奈良・平安 中・近世
7	小池麻生遺跡 (2555-3地点)	芝山町小池字麻生2555-3	渡辺修司 2011 「小池麻生遺跡(2555-3地点)」 『芝山町内遺跡発掘調査報告書-平成22年度-』 芝山町教育委員会	古墳 奈良・平安 中・近世
8	小池麻生遺跡 (上人塚74-5地点)	芝山町新井田字上人塚74-5	渡辺修司 2013 「小池麻生遺跡(上人塚74-5地点)」 『芝山町内遺跡発掘調査報告書-平成24年度-』 芝山町教育委員会	縄文 古墳



## 第2章 小池麻生遺跡（2541-4地点）

### 1. 調査に至る経緯

今回の調査は、千葉県山武郡芝山町小池字麻生2541番地4他に、航空機騒音移転に伴う個人住宅建設を計画したところによる。平成7年3月31日に\_\_\_\_\_から芝山町教育委員会に住宅用地内の「埋蔵文化財の所在の有無及びその取扱いについて（照会）」が提出された。

千葉県教育委員会及び芝山町教育委員会では、当該地は『千葉県埋蔵文化財分布地図（2）』と照会し、現地踏査を行った結果、照会地は周知の埋蔵文化財包蔵地である「小池麻生遺跡」が所在することが確認され、遺跡有りの回答を平成7年5月15日付けで行った。

この回答をもとに、遺跡の取り扱いについて、千葉県教育委員会・芝山町教育委員会・\_\_\_\_\_との三者で協議を行った結果、遺跡の性格及びその広がりを掌握する目的で確認調査を実施し、今後の検討資料とすることとした。

発掘調査は、千葉県教育委員会及び芝山町教育委員会の指導のもと、財団法人山武郡市文化財センターが受託事業として実施することになり、\_\_\_\_\_と埋蔵文化財発掘調査に関する業務（確認調査）の委託契約を締結した。

確認調査は、調査課長小林清隆、調査課長補佐渡辺修一の指導のもと、主任調査研究員山口直人が実施した。面積は593m<sup>2</sup>を対象として59m<sup>2</sup>を平成7年9月18日から同年9月22日に行い、当該地区から竪穴住居跡（9軒）が検出された。

この結果を受け、協議を重ねた結果、現状保存が困難な建物部分等の114m<sup>2</sup>の調査対象地区について、本調査を実施することになり、再度、財団法人山武郡市文化財センターが\_\_\_\_\_と埋蔵文化財発掘調査に関する業務（本調査・整理）の委託契約を締結した。

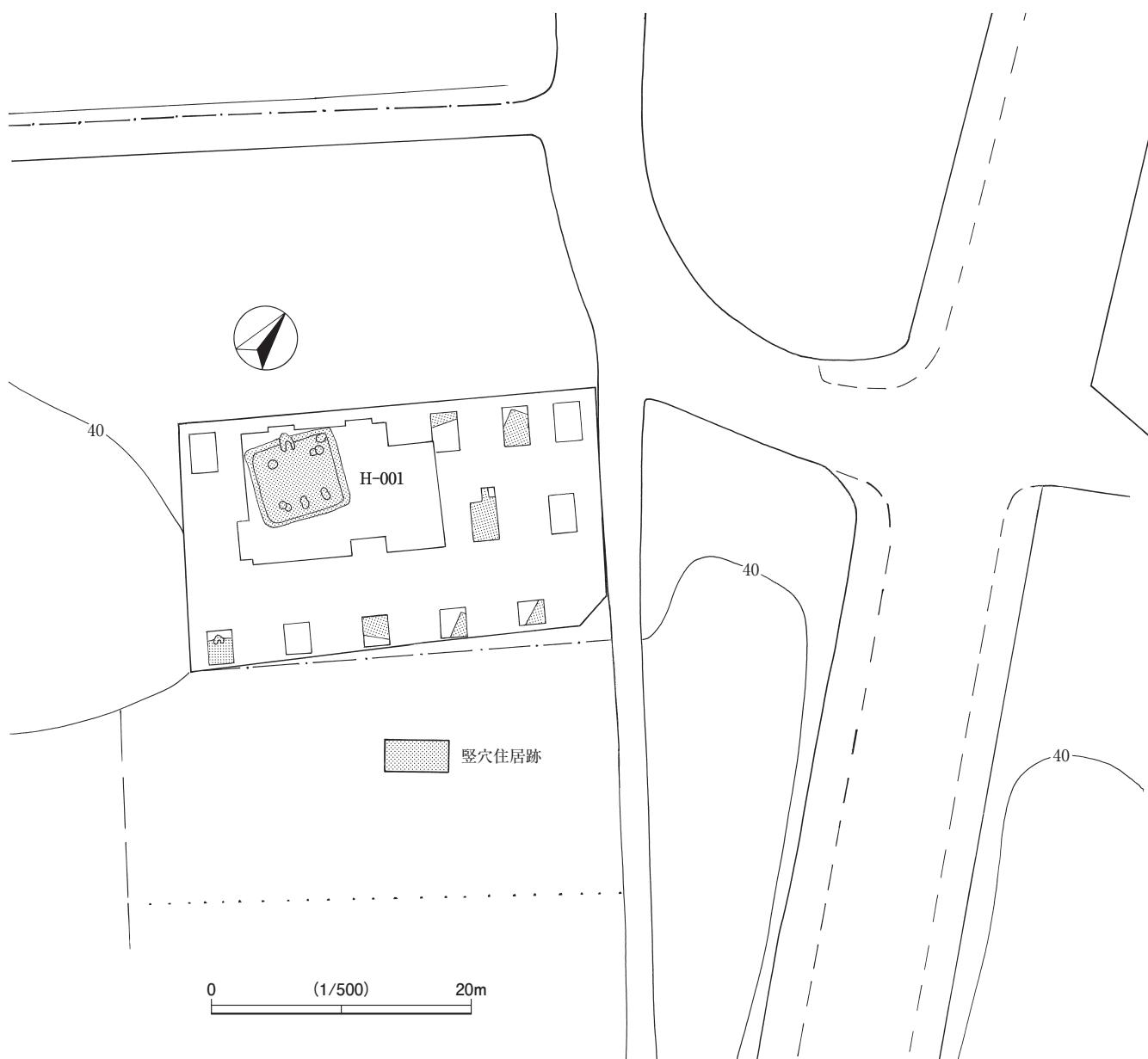
調査担当は、主任調査研究員山口直人が平成7年10月2日から平成7年10月13日まで実施し、竪穴住居跡1軒が検出された。また、平成7年度中には、整理作業の一部（水洗・注記、記録整理、分類、接合・復元、実測の一部、トレースの一部）まで行った。

### 2. 検出された遺構と遺物

今回調査された当遺跡から検出された遺構は、前述した通り確認調査時は竪穴住居跡9軒検出し、そのうち1軒の本調査を実施し、今回報告する。

#### H-001

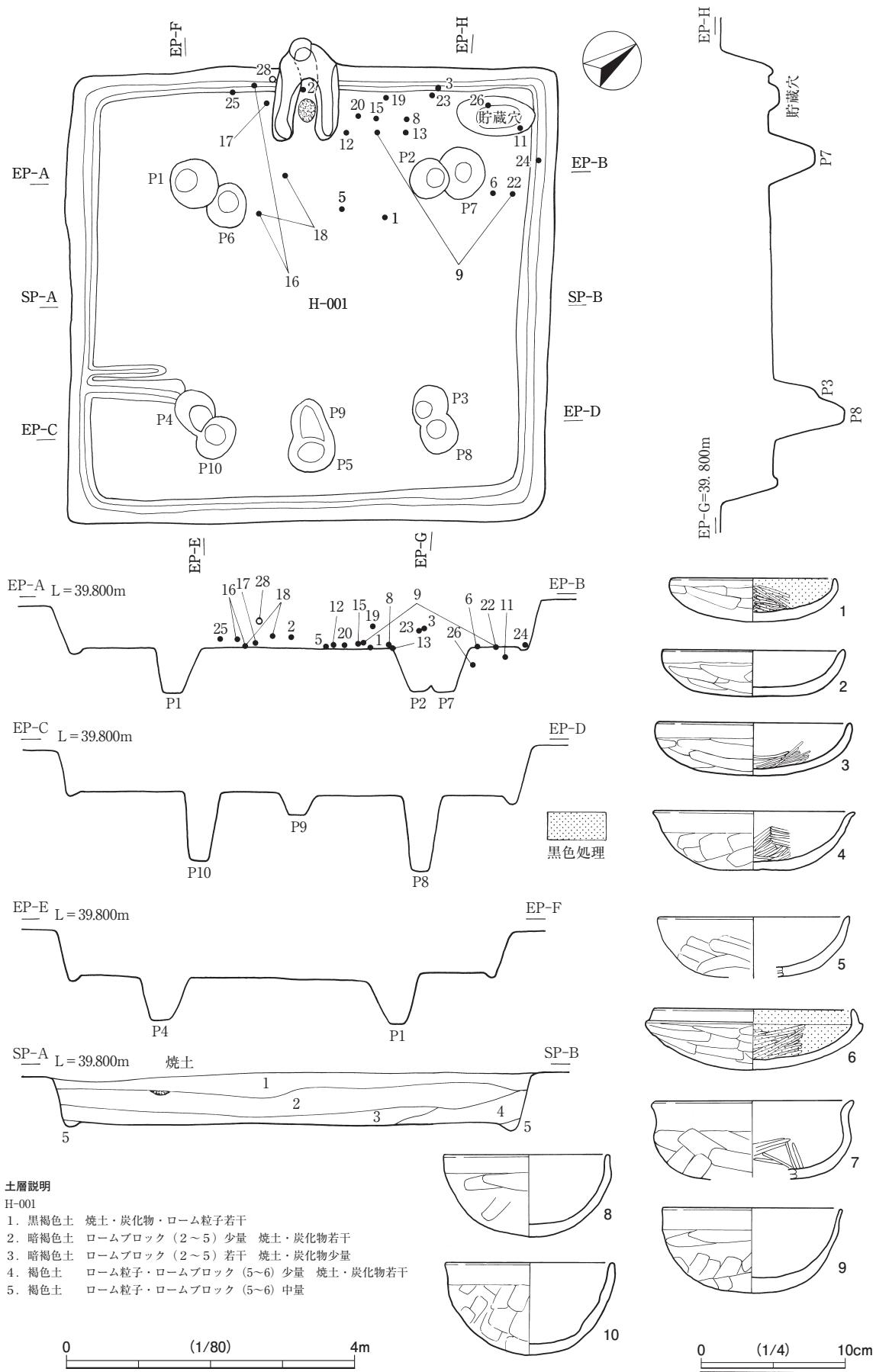
主軸方向：N-67.5°-E。規模と平面形：6.78m×6.30m 正方形を呈する。重複関係：単独。壁：壁高60～66cmを測り、やや緩やかに外傾して立ち上がる。周溝：壁下を全周している。幅30～48cm、深さ8.5～10cm程で断面形はU字状を呈している。柱穴：10ヶ所（P1～P10）検出されている。P1径68×71cm、深さ69cm円形、P2径56×58cm、深さ63cm円形、P3径48×50cm、深さ68cm円形又は楕円形と想定、P4径50×60cm、深さ64cm円形又は楕円形と想定、P5径50×65cm、深さ38cm円形又は楕円形と想定、P6径56×64cm、深さ102cm円形、P7径68×70cm、深さ64cm円形、P8径52×52cm、深さ103cm円形又は楕円形と想定、P9径46×54cm、深さ26cm楕円形、P10径44×60cm、深さ94cm円形又は楕円形と想定。P5とP10は、出入り口施設に伴うピットと考える。貯蔵穴：北壁西コーナーに検出され、規模は110×60cm、深さ



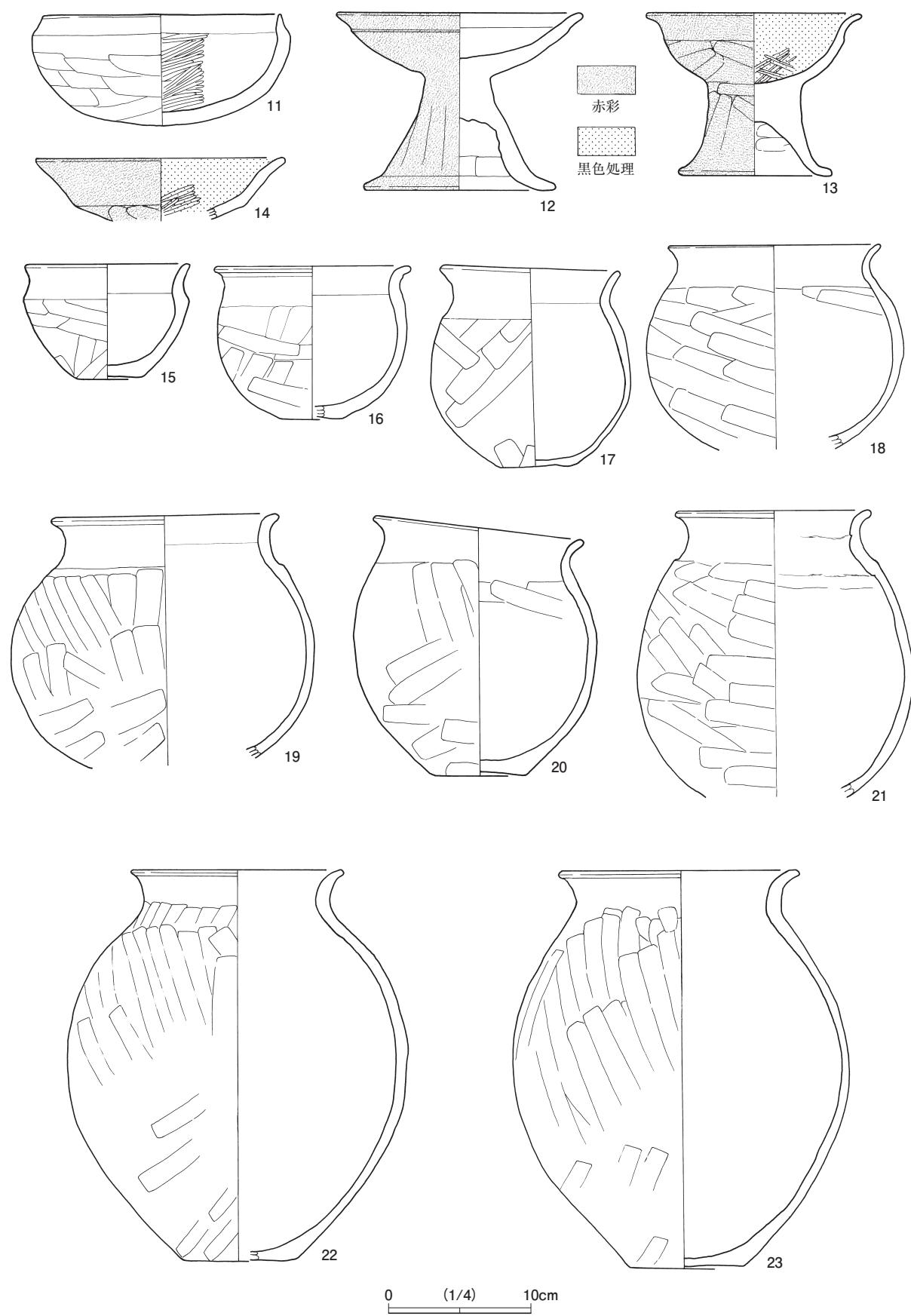
第5図 小池麻生遺跡（2541-4地点）トレンチ及び遺構配置図

52cmの楕円形を呈している。床面：ほぼ平坦である。カマド：北西壁中央部から検出され、遺存状態は良好。長さ132cm、幅91cm、火床部の長径30cm×短径21cm、厚さ5cmが検出された。遺物：土師器壺7点、塊4点、高壺3点、小甕2点、甕10点、土製品支脚1点、鉄製品鎌？1点、瓶片1点出土した。貯蔵穴中心に北側に集中して検出された。特に土師器は黒色処理、赤彩が多く見られる。所見：遺構の形態及び出土遺物から6世紀後半の住居跡と考える。

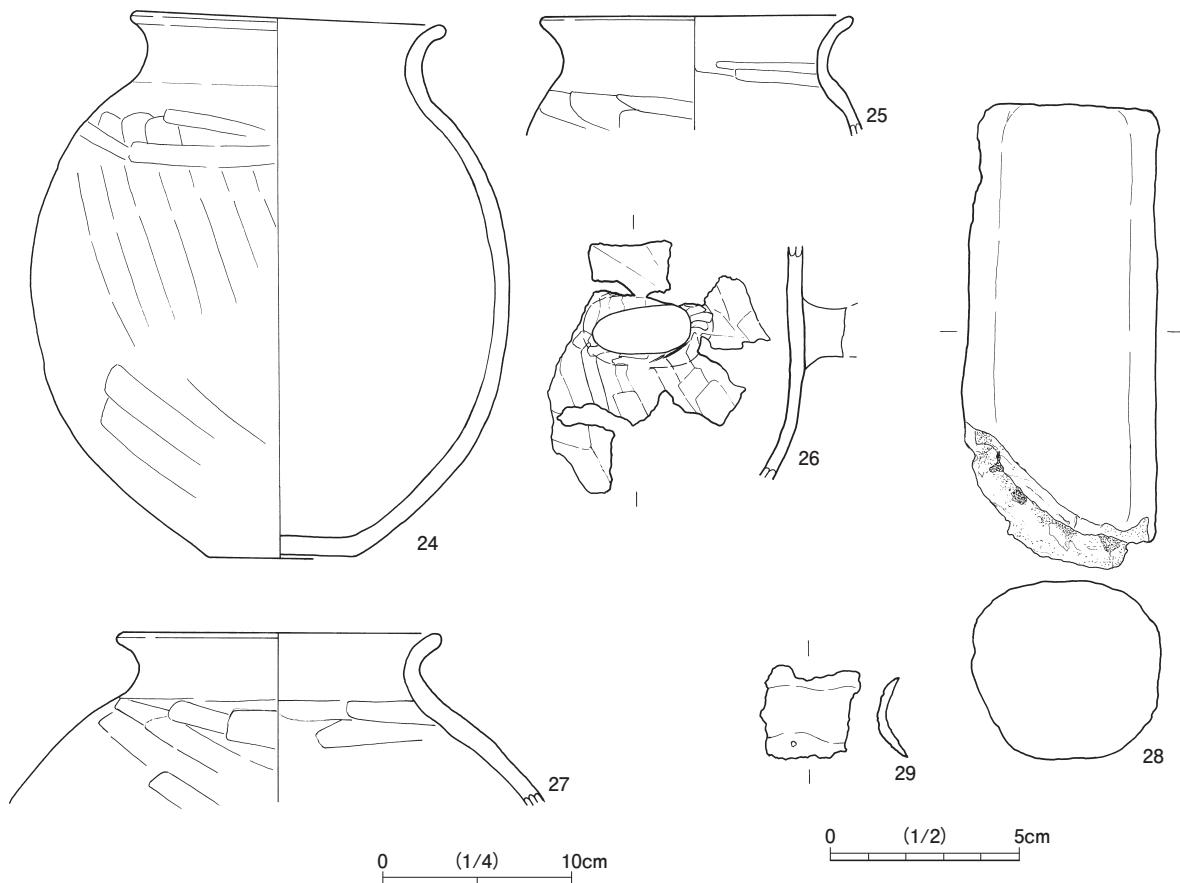
小池麻生遺跡 (2541-4地点)



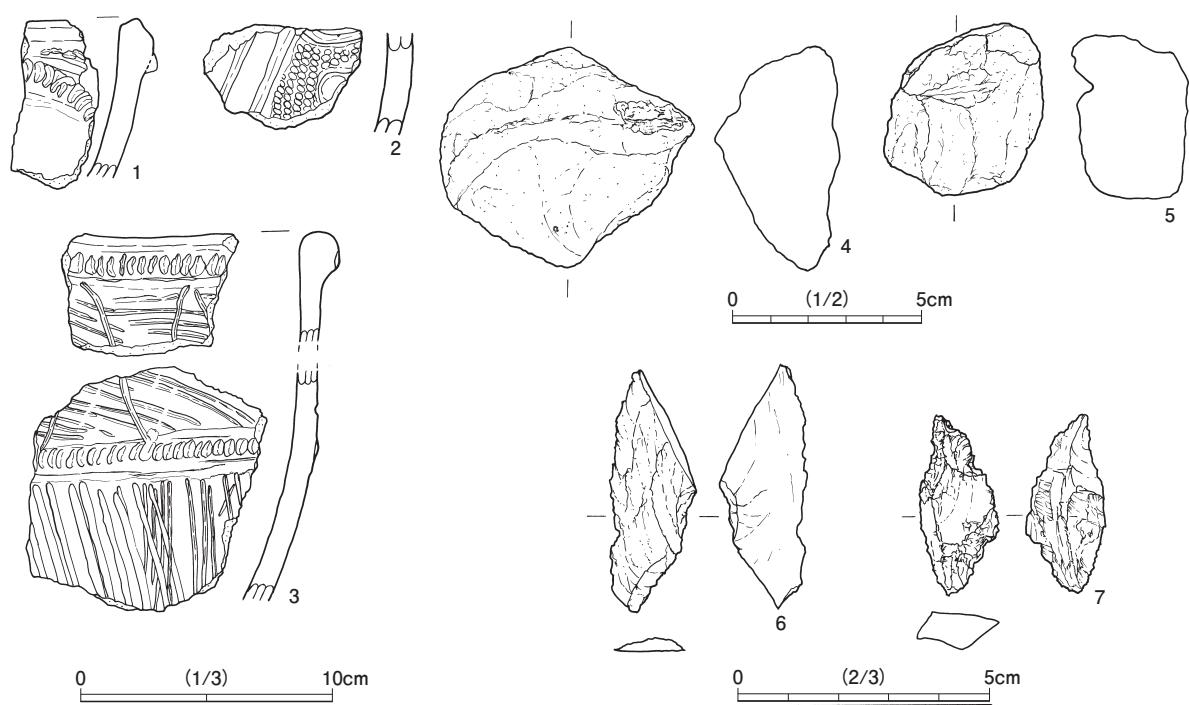
第6図 H-001遺構及び遺物実測図 (1)



第7図 H-001遺物実測図（2）



第8図 H-001遺物実測図（3）



第9図 遺構外遺物実測図

第2表 小池麻生遺跡（2541-4地点）出土遺物観察表

遺構番号	挿図番号	種類	器種	遺存度	計測値(cm)			胎土	調整		色調		備考
					口径	器高	底径		外面	内面	外面	内面	
H-001	6-1	土師器	壺	完形	11.3	3.0		白色粒 黒色粒	ヘラ削り	ミガキ	にぶい 黄橙褐色	にぶい 黄橙褐色	内面黒色処理 (外面摩耗 している)
H-001	6-2	土師器	壺	口縁部1/3欠損 5/6遺存	12.6	3.3		白色粒 石英	ヘラ削り	ナデ	赤褐色	赤褐色	
H-001	6-3	土師器	壺	口縁部1/6欠損 ほぼ完存	13.6	3.7		白色粒 黒色粒 石英	ヘラ削り	ミガキ	明黄褐色	褐色	
H-001	6-4	土師器	壺	1/2遺存	14.0	4.3		白色粒	ヘラ削り	ミガキ	赤褐色	赤褐色	
H-001	6-5	土師器	壺	1/2遺存	13.0	4.3		白色粒 黒色粒 石英	ヘラ削り	ナデ	赤褐色	にぶい 明黄褐色	
H-001	6-6	土師器	壺	口縁部1/6欠損 ほぼ完存	13.8	4.2		白色粒 黒色粒 石英	ヘラ削り	ミガキ	にぶい 橙褐色	にぶい 褐色	内面黒色処理 (外面摩耗 している)
H-001	6-7	土師器	壺	1/2遺存	14.0	(5.4)		白色粒 黒色粒	ヘラ削り	粗いミガキ	赤褐色	黒褐色	
H-001	6-8	土師器	塊	完形	11.5	5.7		白色粒 黒色粒 石英	ヘラ削り	ナデ	赤褐色	黄褐色	
H-001	6-9	土師器	塊	ほぼ完存	12.4	5.8		白色粒 黒色粒	ヘラ削り	ナデ	赤褐色	赤褐色	
H-001	6-10	土師器	塊	4/5遺存	11.8	6.4		白色粒 黒色粒 石英	ヘラ削り	ナデ	赤褐色	赤褐色	
H-001	7-11	土師器	塊	完形	16.7	7.9		白色粒 黒色粒 石英	ヘラ削り	ミガキ	にぶい 黄褐色	褐色	
H-001	7-12	土師器	高壺	ほぼ完存	17.2	12.4	13.4	白色粒 黒色粒 石英	ヘラ削り 壺部 摩耗して いる	ミガキ 摩耗して いる	橙褐色	橙褐色	外面赤彩
H-001	7-13	土師器	高壺	壺部1/3 脚部3/4遺存	(15.0)	11.3	10.8	スコリア 白色粒	ヘラ削り	ミガキ	褐色	褐色	内面黒色処理 外面赤彩
H-001	7-14	土師器	高壺	壺部1/3遺存 脚部欠損	(17.4)	(4.3)		白色粒 黒色粒 石英	ヘラ削り	ミガキ	明黄褐色	黒色	内面黒色処理 外面赤彩
H-001	7-15	土師器	小甕	完形	11.4	8.0	4.6	白色粒 黒色粒	ヘラ削り	ナデ	赤褐色	オリーブ 褐色	
H-001	7-16	土師器	小甕	1/2遺存	13.8	10.7	4.2	白色粒	ヘラ削り	ナデ	赤褐色	赤褐色	
H-001	7-17	土師器	甕	ほぼ完存	12.6	5.0	14.3	白色粒 黒色粒 石英	ヘラ削り	ナデ	赤褐色	褐色	
H-001	7-18	土師器	甕	3/4遺存 底部欠損	14.7	(14.3)		白色粒 黒色粒	ヘラ削り	ナデ	明赤褐色	黄褐色	
H-001	7-19	土師器	甕	4/5遺存 底部欠損	15.9	21.1		白色粒 黒色粒	ヘラ削り	ナデ	赤褐色	暗褐色	
H-001	7-20	土師器	甕	口縁部底部遺存 胴部1/2弱遺存	14.6× 15.6	16.5× 18.2	6.3	白色粒 黒色粒 石英	ヘラ削り	ナデ	暗赤褐色	暗赤褐色	歪つ
H-001	7-21	土師器	甕	口縁部～胴下部 1/2遺存	13.8	(20.0)		スコリア 白色粒 黑色粒 石英	ヘラ削り	ナデ	赤褐色	明黄褐色	内面輪積み痕 あり
H-001	7-22	土師器	甕	口縁部～胴部 ほぼ完存 底部一部遺存	14.8	27.4	(8.0)	スコリア 白色粒 石英	ヘラ削り	ナデ	暗赤褐色	褐色	
H-001	7-23	土師器	甕	胴部一部欠損 ほぼ完存	16.8	29.9	7.8	スコリア 白色粒 黑色粒 石英	ヘラ削り	ナデ	赤褐色	灰褐色	
H-001	8-24	土師器	甕	胴部一部欠損 ほぼ完存	16.2	7.6	28.8	スコリア 白色粒 石英	ヘラ削り	ナデ	暗褐色	黒褐色	
H-001	8-25	土師器	甕	口縁部～胴上部 2/3遺存	16.4	(6.0)		スコリア 白色粒 黑色粒 石英	ヘラ削り	ナデ	赤褐色	褐色	
H-001	8-26	土師器	甕	胴部片(把手部)				スコリア 白色粒 黑色粒 石英	ヘラ削り	ナデ	明黄褐色	明黄褐色	
H-001	8-27	土師器	甕	口縁部～胴上部 遺存	17.0	(9.0)		スコリア 白色粒 黑色粒 石英	ヘラ削り	ナデ	明赤褐色	赤褐色	

遺構番号	挿図番号	種類	器種	計測値(cm)			重量(g)	現存率(%)	備考
				最大長	最大幅	最大厚			
H-001	8-28	土製品	支脚	12.2	5.0	4.7	323.6	(80)	
H-001	8-29	鉄製品	鎌?	2.5	2.6	0.3	4.3	—	

遺構番号	挿図番号	種類	器種	遺存度	胎土	色調		出土地点	型式名
						外面	内面		
遺構外	9-1	縄文土器	深鉢	口縁片	白色粒 黒色粒 石英 雲母	にぶい黄橙褐色	にぶい黄橙褐色	H-001	加曾利E式
遺構外	9-2	縄文土器	深鉢	胴部片	白色粒 黒色粒	橙褐色	橙褐色	H-001	加曾利E式
遺構外	9-3	縄文土器	深鉢	口縁片・胴部片	白色粒 黒色粒 石英	明赤褐色	明赤褐色	H-001	安行式

遺構番号	挿図番号	種類	器種	計測値(cm)	重量(g)	現存率(%)	出土地点
遺構外	9-4	土製品	軽石	5.8	6.8	3.3	33.7
遺構外	9-5	土製品	軽石	4.5	4.2	3.1	16.0
遺構外	9-6	石製品	剥片	4.8	1.8	0.3	2.3
遺構外	9-7	黒曜石	剥片	3.6	1.6	0.7	3.3

## 第3章 小池麻生遺跡（富士見2543地点）

### 1. 調査に至る経緯

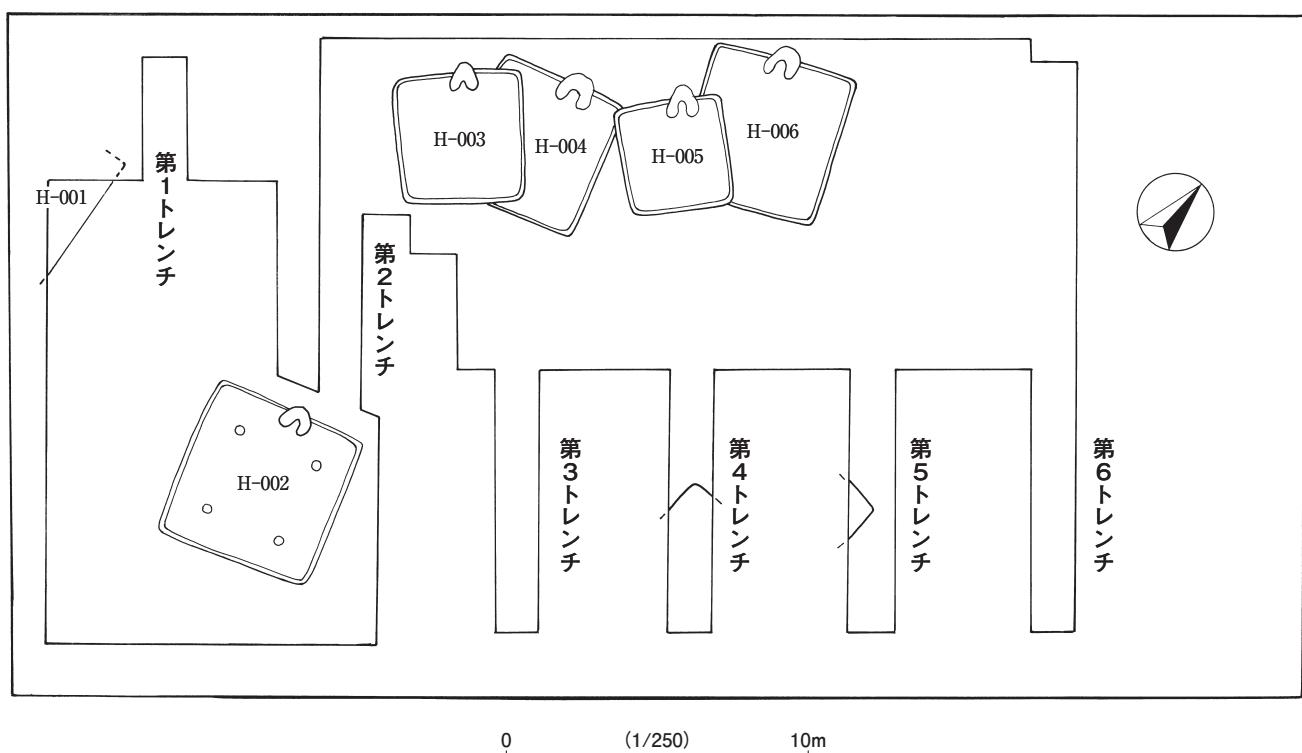
今回の調査は、千葉県山武郡芝山町小池字富士見2543番地5他に、航空機騒音移転に伴う個人住宅建設を計画したところによる。平成5年6月11日にから芝山町教育委員会に住宅用地内の「埋蔵文化財の所在の有無及びその取扱いについて（照会）」が提出された。

千葉県教育委員会及び芝山町教育委員会では、当該地は『千葉県埋蔵文化財分布地図（2）』と照会し、現地踏査を行った結果、照会地は周知の埋蔵文化財包蔵地である「小池麻生遺跡」が所在することが確認され、遺跡有りの回答を平成5年6月29日付けで行った。

この回答をもとに、遺跡の取り扱いについて、千葉県教育委員会・芝山町教育委員会・との三者で協議を行った結果、遺跡の性格及びその広がりを掌握する目的で確認調査を実施し、今後の検討資料とすることとした。

発掘調査は、千葉県教育委員会及び芝山町教育委員会の指導のもと、財団法人山武郡市文化財センターが受託事業として実施することになり、と埋蔵文化財発掘調査に関する業務（確認調査）の委託契約を締結した。

確認調査は、調査課長田村 隆、調査課長補佐小林清隆の指導のもと、調査研究員海保孝則が実施した。面積は981m<sup>2</sup>を対象として98m<sup>2</sup>を平成5年8月10日から同年8月18日に行い、当該地区から竪穴住居跡8軒が検出された。



第10図 小池麻生遺跡（富士見2543地点）トレンチ及び遺構配置図

この結果を受け、協議を重ねた結果、現状保存が困難な建物部分等の280m<sup>2</sup>の調査対象地区について、本調査を実施することになり、再度、財団法人山武郡市文化財センターがと埋蔵文化財発掘調査に関する業務（本調査）の委託契約を締結した。

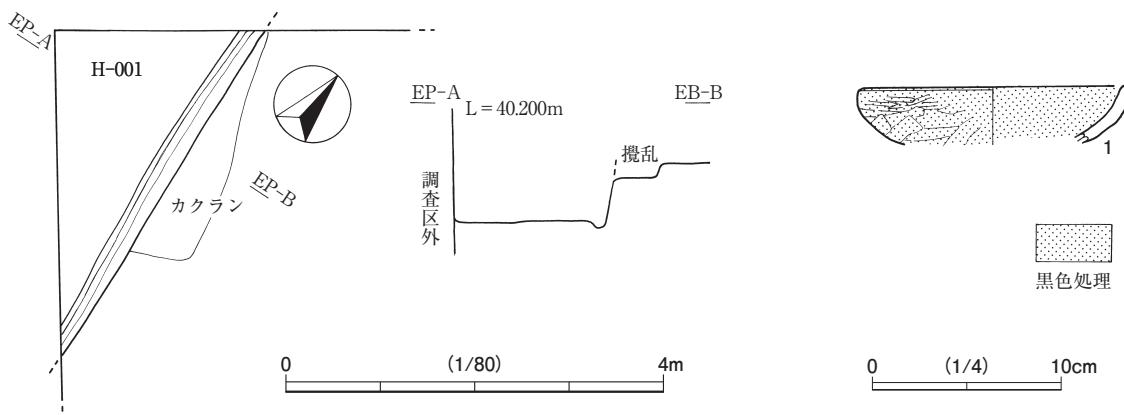
調査担当は、調査研究員海保孝則が平成5年9月6日から平成5年10月15日まで実施し、竪穴住居跡6軒が検出された。

## 2. 検出された遺構と遺物

今回調査された当遺跡から検出された遺構は、前述した通り確認調査時は竪穴住居跡8軒検出し、そのうち6軒の本調査を実施し、今回報告する。

H-001（第11図、図版5-1）

**主軸方向**：N-6°-WまたはN-84°-E。**規模と平面形**：(3.95)m × (1.65)m 大半が調査区域外のため全容は未掌握。正方形または長方形と想定される。**重複関係**：単独と想定。**壁**：壁高63～64cmを測り、やや緩やかに立ち上がる。**周溝**：南北一部のみ検出される。幅4～10cm、深さ4～7cm程で断面形はU字状を呈している。**柱穴**：検出されなかった。**床面**：ほぼ平坦である。**カマド**：付設すると考えるが検出されなかった。**遺物**：土師器（壊）1点出土した。**所見**：本跡は、遺構の形態及び出土遺物から8世紀前半の住居跡と考える。



第11図 H-001遺構及び遺物実測図

第3表 小池麻生遺跡（富士見2543地点）H-001出土遺物観察表

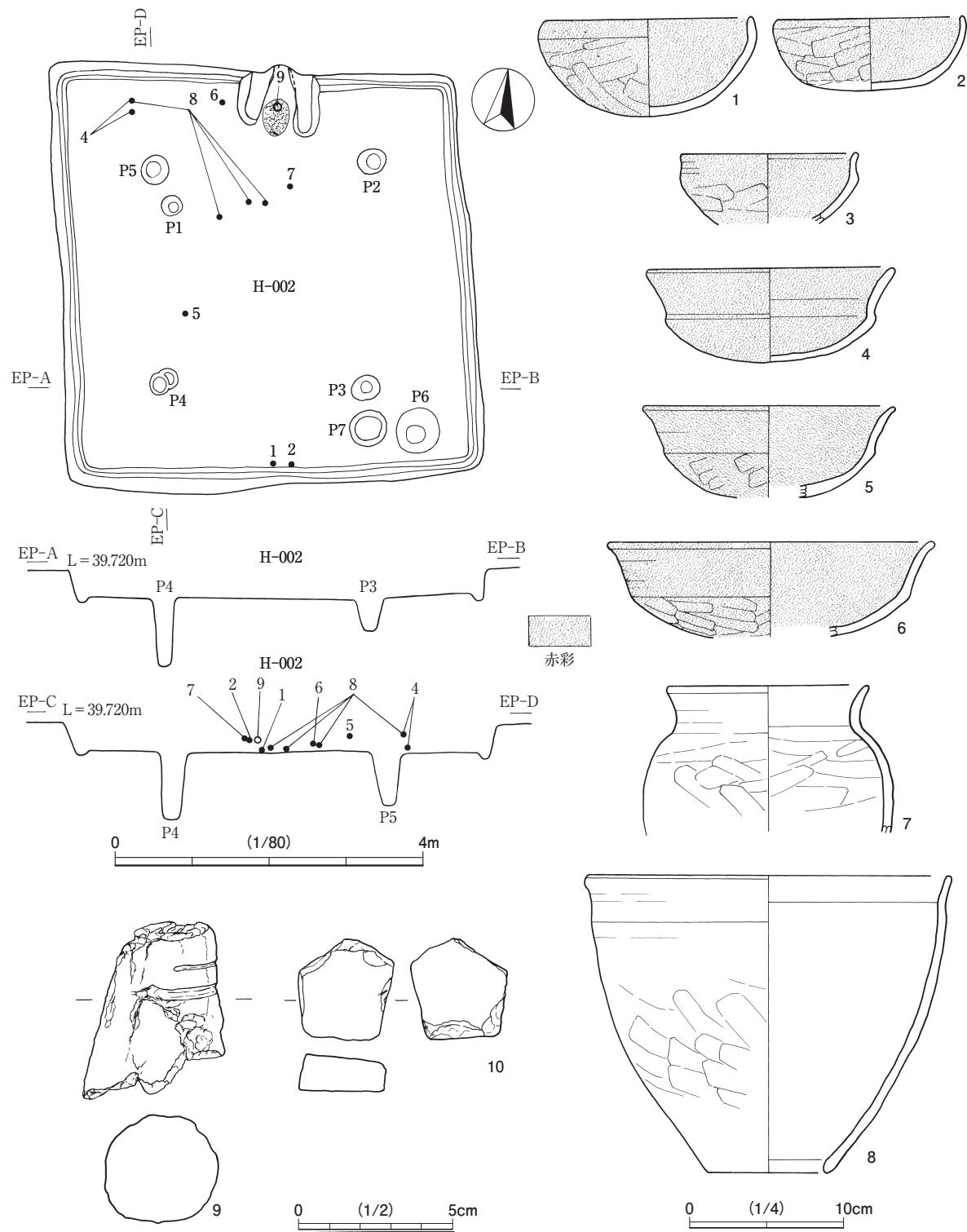
遺構番号	挿図番号	種類	器種	遺存度	計測値(cm)			胎土	調整		色調		備考
					口径	器高	底径		外面	内面	外面	内面	
H-001	11-1	土師器	壊	口縁部1/8 体部1/6遺存	14.0	3.0		白色微粒	ヘラ削り	ナデ	黒褐色	黒褐色	内外黒色処理

H-002（第12図、図版5-2）

**主軸方向**：N-17°-W。**規模と平面形**：5.49m × 5.30m 正方形を呈する。**重複関係**：単独。**壁**：壁高27～41cmを測り、やや緩やかに立ち上がる。**周溝**：壁下を全周している。幅3～10cm、深さ3～10cm程で断面形はU字状を呈している。**柱穴**：7ヶ所（P1～P7）検出されている。P1径25×28cm、深さ82cm円形、P2径34×38cm、深さ78cm円形、P3径33×35cm、深さ44cm円形、P4径27×40cm、深さ55～86cm橢円形、

## 小池麻生遺跡（富士見2543地点）

P5 径34×35cm, 深さ67cm円形, P6 径55×57cm, 深さ51cm円形, P7 径46×48cm, 深さ68cm円形を呈する。床面：ほぼ平坦である。カマド：北西壁中央部から検出されている。長さ95cm, 幅105cm, 火床部の長径45cm×短径33cmが検出された。遺物：土師器壊6点, 壺1点, 甌1点, 土製品支脚1点, 石製品砥石1点が出土した。所見：本跡は、遺構の形態及び出土遺物から7世紀前半の住居跡と考える。



第12図 H-002遺構及び遺物実測図

第4表 小池麻生遺跡（富士見2543地点）H-002出土遺物観察表

遺構番号	挿図番号	種類	器種	遺存度	計測値(cm)			胎土	調整		色調		備考
					口径	器高	底径		外面	内面	外面	内面	
H-002	12-1	土師器	壺	1/2遺存	12.0	4.7		白色微粒	ヘラ削り	ナデ	赤褐色	赤褐色	内外赤彩
H-002	12-2	土師器	壺	口縁部1/6 体部1/2遺存 底部遺存	(13.4)	6.3		スコリア 白色粒	ヘラ削り後 ナデ	ナデ	赤褐色	赤褐色 底部外 黒色	内外赤彩
H-002	12-3	土師器	壺	1/2遺存	11.4	(4.6)		白色粒	ヘラ削り	ナデ	赤褐色	赤褐色	内外赤彩
H-002	12-4	土師器	壺	1/2遺存	15.8	6.0		白色粒	ナデ	ナデ	暗赤褐色	暗赤褐色	内外赤彩
H-002	12-5	土師器	壺	1/2遺存	16.0	6.0		白色粒	ヘラ削り後 ナデ	ナデ	赤褐色	赤褐色	内外赤彩
H-002	12-6	土師器	壺	1/3遺存	(21.0)	(6.2)		白色粒	ヘラ削り	ナデ	赤褐色	赤褐色	内外赤彩
H-002	12-7	土師器	甕	口縁部～胴中央 部1/8遺存	13.0	(9.5)		少量の白色粒	ヘラ削り	ナデ	褐色	暗褐色	
H-002	12-8	土師器	甕	9/10遺存	23.6	19.2	7.7	少量の白色粒	ヘラ削り	丁寧なナデ	赤褐色	赤褐色	

遺構番号	挿図番号	種類	器種	計測値(cm)			重量(g)	現存率(%)	備考
				最大長	最大幅	最大厚			
H-002	12-9	土製品	支脚	11.5	9.1	7.1	450.7	(50)	
H-002	12-10	石製品	砥石	3.3	3.1	1.2	15.1	—	

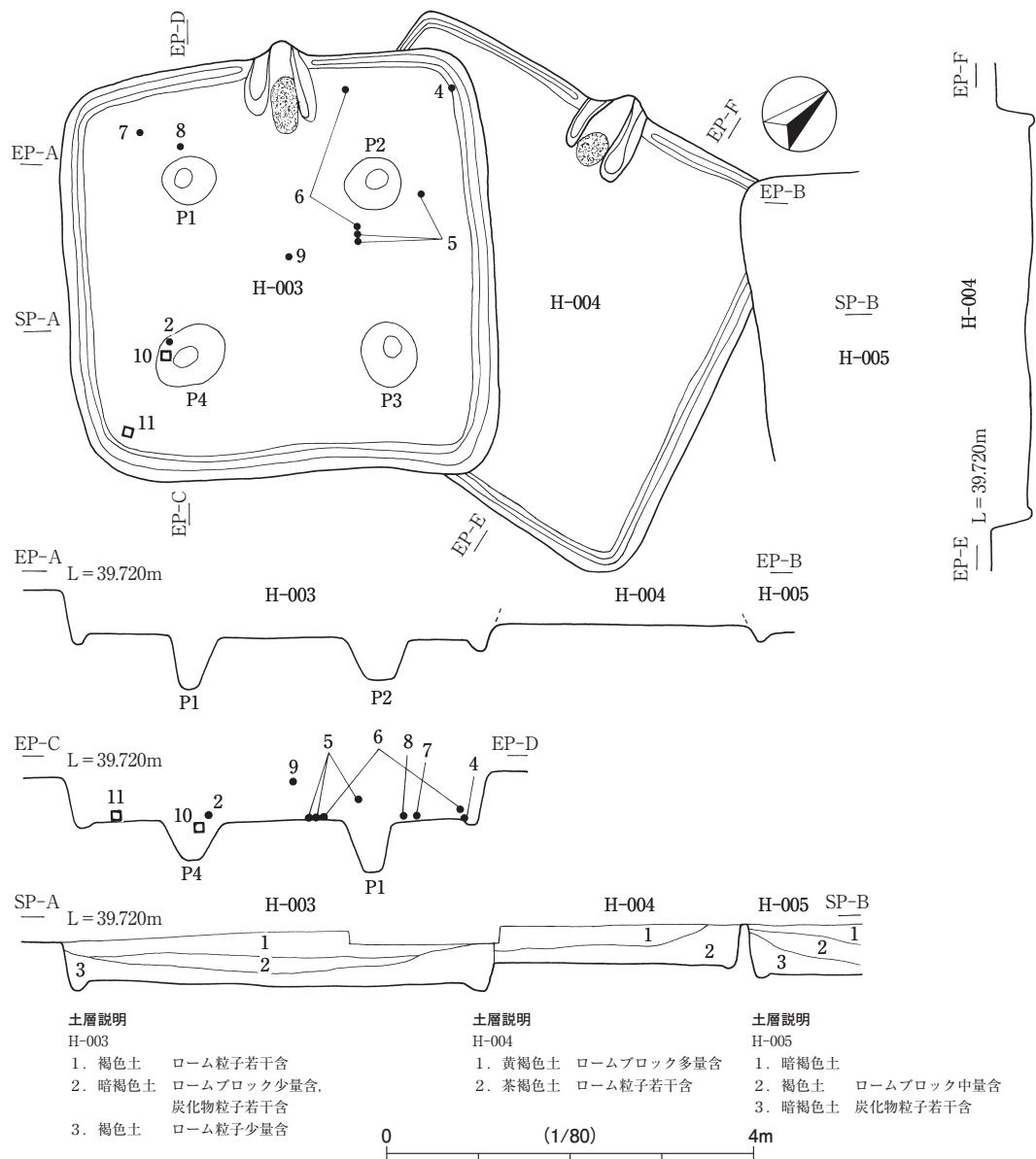
## H-003（第13図、図版5-3・5-7）

主軸方向：N-38°-W。規模と平面形：4.65m×4.54m 正方形を呈する。重複関係：東部でH-004を掘り込んでいる。壁：壁高24～47cmを測り、やや緩やかに立ち上がる。周溝：壁下を全周している。幅5～13cm、深さ7～10cm程で断面形はU字状を呈している。柱穴：4ヶ所（P1～P4）検出されている。P1径48×55cm、深さ55cm円形、P2径55×64cm、深さ45cm円形、P3径58×68cm、深さ45cm楕円形、P4径56×81cm、深さ43cm楕円形を呈する。床面：ほぼ平坦である。カマド：北西壁中央部から検出されている。長さ95cm、幅76cm、火床部の長径62cm×短径39cmが検出された。遺物：土師器壺3点、甕6点、石製品軽石1点、板碑1点が出土した。所見：本跡は、重複関係からH-004より新しい時期に構築され、遺構の形態及び出土遺物から7世紀前半の住居跡と考える。

## H-004（第13図、図版5-4・5-7）

主軸方向：N-12°-W。規模と平面形：4.48m×(3.26)m 正方形又は長方形を呈すると想定される。重複関係：東部をH-003に北東部の隅をH-005にそれぞれ掘り込まれている。壁：壁高25～39cmを測り、やや緩やかに立ち上がる。周溝：南西部分を除きほぼ全周と考える。幅2～10cm、深さ1～5cm程で断面形はU字状を呈している。柱穴：検出されなかった。床面：ほぼ平坦である。カマド：北西壁中央部から検出されている。長さ98cm、幅76cm、火床部の長径40cm×短径32cmが検出された。遺物：土師器壺2点が出土した。所見：本跡は、重複関係からH-003より古い時期に構築され、遺構の形態及び出土遺物から6世紀後半の住居跡と考える。

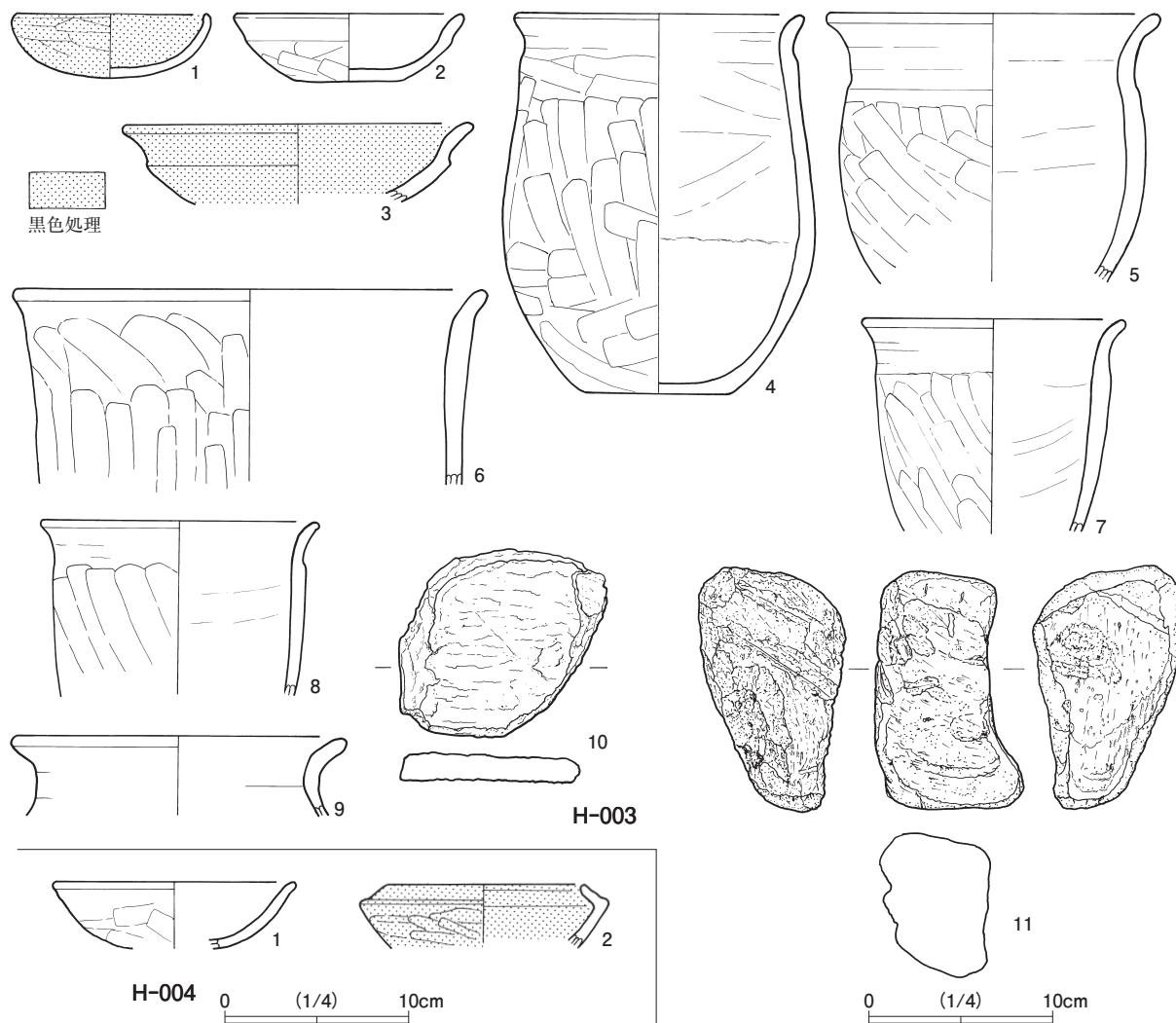
小池麻生遺跡（富士見2543地点）



第13図 H-003・004遺構実測図

第5表 小池麻生遺跡（富士見2543地点）H-003出土遺物観察表（1）

遺構番号	挿図番号	種類	器種	遺存度	計測値(cm)			胎土	調整		色調		備考
					口径	器高	底径		外面	内面	外面	内面	
H-003	14-1	土師器	壺	口縁部5/6 底部3/4 体部遺存	10.8	3.4		スコリア	ヘラ削り	ナデ	灰暗褐色	灰暗褐色	内外黒色処理
H-003	14-2	土師器	壺	口縁部～体部 1/2 底部遺存	12.4	3.6	5.8	白色粒	ヘラ削り	ナデ	暗赤褐色	暗赤褐色	
H-003	14-3	土師器	壺	1/8遺存	19.2	4.2		白色粒少量	ナデ 一部剥離	ナデ	黒褐色	黒色	内外黒色処理
H-003	14-4	土師器	甕	口縁部～胴中央 部底部 胴下部2/3遺存	15.6	20.5	8.0	白色粒 黒色粒	ヘラ削り	ナデ	暗赤褐色	暗褐色	
H-003	14-5	土師器	甕	1/2遺存 底部欠損	18.0	(14.5)		白色粒	ヘラ削り	ナデ	褐色	明褐色	
H-003	14-6	土師器	甕	口縁一部 胴上部～胴中 央部1/5遺存	(25.6)	(10.3)		スコリア 白色粒	ヘラ削り	ナデ	明褐色	黒褐色	
H-003	14-7	土師器	甕	口縁部～胴中央 部1/4遺存	(14.4)	(11.6)		白色粒	ヘラ削り	ナデ	明赤褐色	明赤褐色	
H-003	14-8	土師器	甕	口縁部～胴中央 部1/8遺存	(15.0)	9.4		白色粒多量	ヘラ削り	ナデ	明赤褐色	明赤褐色	
H-003	14-9	土師器	甕	口縁部1/10遺存	(18.0)	(4.1)		白色粒	ナデ	ナデ	赤褐色	赤褐色	



第14図 H-003・004遺物実測図

第6表 小池麻生遺跡（富士見2543地点）H-003出土遺物観察表（2）

遺構番号	挿図番号	種類	器種	計測値(cm)			重量(g)	現存率(%)	備考
				最大長	最大幅	最大厚			
H-003	14-10	石製品	板碑	10.3	11.3	1.6	348.4	—	
H-003	14-11	石製品	軽石	13.1	7.9	7.7	124.6	(100)	

第7表 小池麻生遺跡（富士見2543地点）H-004出土遺物観察表

遺構番号	挿図番号	種類	器種	遺存度	計測値(cm)			胎土	調整		色調		備考		
					口径	器高	底径		外面	内面	外面	内面			
H-004	14-1	土師器	壺	1/8遺存	(13.2)	(3.6)		白色粒多量	ヘラ削り	ナデ	赤褐色	赤褐色			
H-004	14-2	土師器	壺	口縁部～体部中央部1/8遺存	(10.7)	(3.4)		白色細粒	ヘラ削り	ナデ	黒褐色	黒褐色	内外黒色処理		

## 小池麻生遺跡（富士見2543地点）

### H-005（第15図、図版5-5・5-7）

**主軸方向**：N-46°-W。規模と平面形：3.76m×3.74m 正方形を呈する。重複関係：西部をH-004、東部をH-006にそれぞれ掘り込んでいる。壁：壁高48~49cmを測り、やや緩やかに立ち上がる。周溝：壁下を全周している。幅2~10cm、深さ1~8cm程で断面形はU字状を呈している。柱穴：1ヶ所（P1）検出されている。P1径30×38cm、深さ23cm楕円形を呈し、出入り口施設に伴うピットと考える。床面：ほぼ平坦である。カマド：北西壁中央部より若干北側の位置より検出されている。長さ94cm、幅112cm、火床部の長径40cm×短径33cmが検出された。遺物：土師器壺3点、石製品軽石1点、鉄製品刀子1点が出土した。所見：本跡は、重複関係からH-004・H-006より新しい時期に構築され、遺構の形態及び出土遺物から7世紀前半の住居跡と考える。

### H-006（第15図、図版5-6・5-7）

**主軸方向**：N-23°-W。規模と平面形：5.22m×5.22m 正方形と想定される。重複関係：西部をH-005に掘り込まれて。壁：壁高32~45cmを測り、やや緩やかに立ち上がる。周溝：南西部を除きほぼ全周と考える。幅3~10cm、深さ1~15cm程で断面形はU字状を呈している。柱穴：4ヶ所（P1~P4）検出されている。P1径53×66cm、深さ85cm楕円形、P2径60×63cm、深さ74cm円形、P3径67×73cm、深さ70cm円形、P4径32×36cm、深さ60cm円形を呈する。床面：ほぼ平坦である。カマド：北西壁中央部から検出されている。長さ97cm、幅121cm、火床部の長径41cm×短径40cmが検出された。貯蔵穴：北壁西コーナーに検出され、規模は90×68cm、深さ85cmの楕円形を呈している。遺物：土師器壺2点、甕3点が出土した。所見：本跡は、重複関係からH-005より古い時期に構築され、遺構の形態及び出土遺物から7世紀前半の住居跡と考える。

第8表 小池麻生遺跡（富士見2543地点）H-005出土遺物観察表

遺構番号	挿図番号	種類	器種	遺存度	計測値(cm)			胎土	調整		色調		備考
					口径	器高	底径		外面	内面	外面	内面	
H-005	15-1	土師器	壺	1/8遺存	(13.6)	(3.5)		白色粒少量	ナデ	ナデ 一部剥離	暗黒褐色	暗黒褐色	内外黒色処理
H-005	15-2	土師器	壺	1/8遺存	(13.0)	(2.8)		スコリア 白色粒	ヘラ削り	ナデ	暗褐色	黒褐色	
H-005	15-3	土師器	壺	1/8遺存	(15.4)	(4.1)		白色粒	ヘラ削り	ナデ	赤褐色	赤褐色	

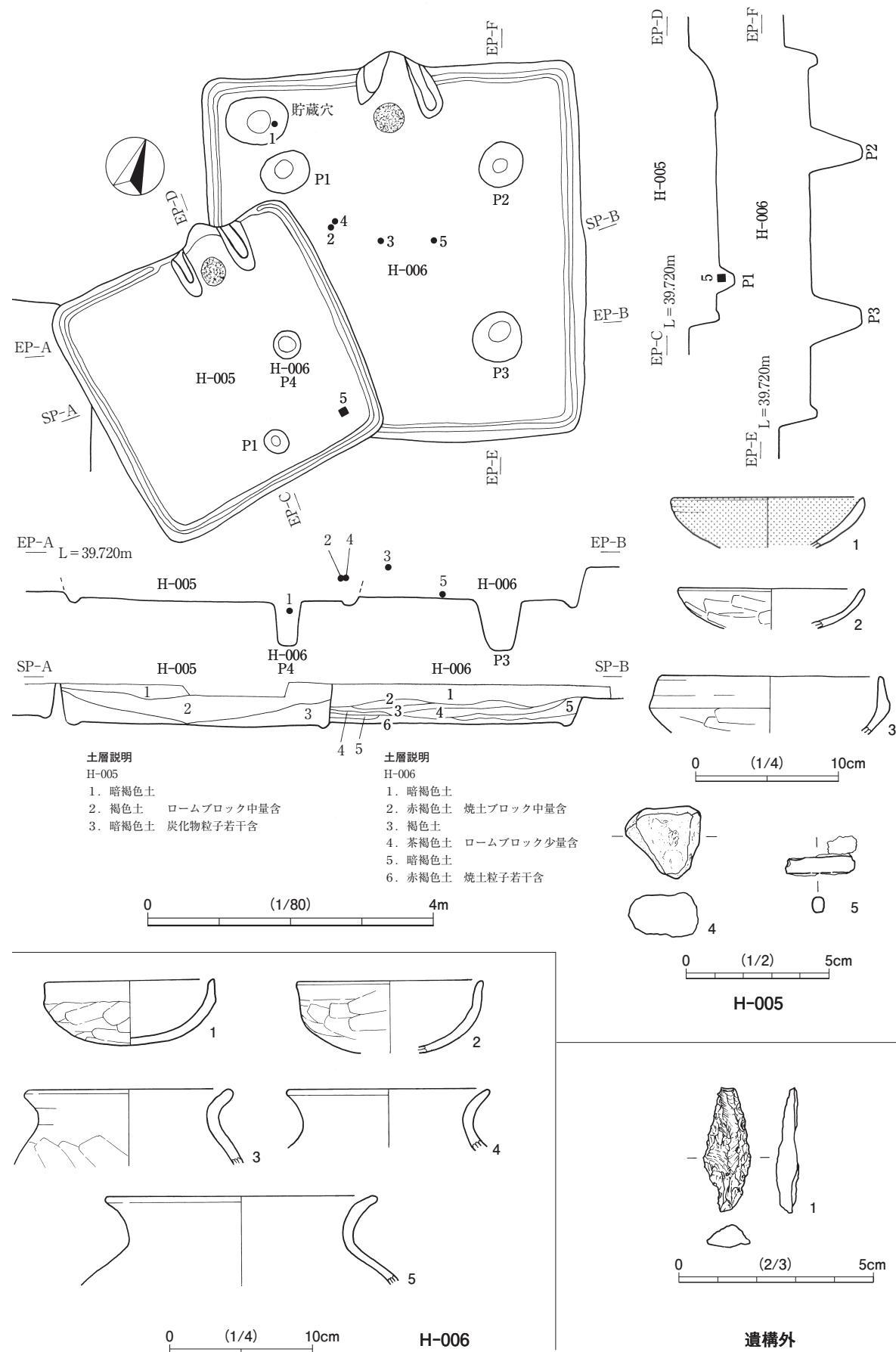
遺構番号	挿図番号	種類	器種	計測値(cm)			重量(g)	現存率(%)	備考
				最大長	最大幅	最大厚			
H-005	15-4	石製品	軽石	2.5	2.7	1.6	3.3	(100)	
H-005	15-5	鉄製品	刀子	2.5	0.7	0.4	1.9	-	

第9表 小池麻生遺跡（富士見2543地点）H-006出土遺物観察表

遺構番号	挿図番号	種類	器種	遺存度	計測値(cm)			胎土	調整		色調		備考
					口径	器高	底径		外面	内面	外面	内面	
H-006	15-1	土師器	壺	完形	11.9	4.5		スコリア 白色粒	ヘラ削り	ナデ	暗赤褐色	暗赤褐色	
H-006	15-2	土師器	壺	1/3遺存	(13.0)	(5.0)		白色粒多量	ヘラ削り	ナデ	茶褐色	茶褐色	
H-006	15-3	土師器	甕	口縁部～胴上部 1/4遺存	(14.5)	(5.2)		スコリア 白色粒多量	ヘラ削り	ナデ	黒褐色	黒褐色	
H-006	15-4	土師器	甕	口縁部1/10遺存	(14.2)	(4.1)		白色粒	ナデ	ナデ	褐色	黒褐色	
H-006	15-5	土師器	甕	口縁部～胴上部 1/5遺存	(19.4)	(6.2)		白色粒多量	ナデ	ナデ	暗赤褐色	暗赤褐色	

第10表 小池麻生遺跡（富士見2543地点）遺構外出土遺物観察表

遺構番号	挿図番号	種類	器種	計測値(cm)			重量(g)	現存率(%)	出土地点
				最大長	最大幅	最大厚			
遺構外	15-1	黒曜石	矢じり	3.3	1.3	0.6	1.7	-	H-001



第15図 H-005・006遺構及びH-005・006・遺構外遺物実測図

## 第4章 小池麻生遺跡（2500地点）

### 1. 調査に至る経緯

今回の調査は、千葉県山武郡芝山町小池字麻生2500番地に、航空機騒音移転に伴う個人住宅建設（）を計画したところによる。平成10年8月11日に征建築株式会社から芝山町教育委員会に住宅用地内の「埋蔵文化財の所在の有無及びその取扱いについて（照会）」が提出された。

千葉県教育委員会及び芝山町教育委員会では、当該地は『千葉県埋蔵文化財分布地図（2）』と照会し、現地踏査を行った結果、照会地は周知の埋蔵文化財包蔵地である「小池麻生遺跡」が所在することが確認され、遺跡有りの回答を平成10年9月5日付けで行った。

この回答をもとに、遺跡の取り扱いについて、千葉県教育委員会・芝山町教育委員会・征建築株式会社及びとで協議を行われた結果、遺跡の性格及びその広がりを掌握する目的で確認調査を実施し、今後の検討資料とすることとした。

発掘調査は、千葉県教育委員会及び芝山町教育委員会の指導のもと、財団法人山武郡市文化財センターが受託事業として実施することになり、芝山町長相川勝重と埋蔵文化財発掘調査に関する業務（確認調査）の委託契約を締結した。

確認調査は、調査課長大野康男、調査係長渡辺修司の指導のもと、副主査山口直人が実施した。面積は925m<sup>2</sup>を対象として92m<sup>2</sup>を平成10年12月22日に行った。

### 2. 検出された遺構と遺物

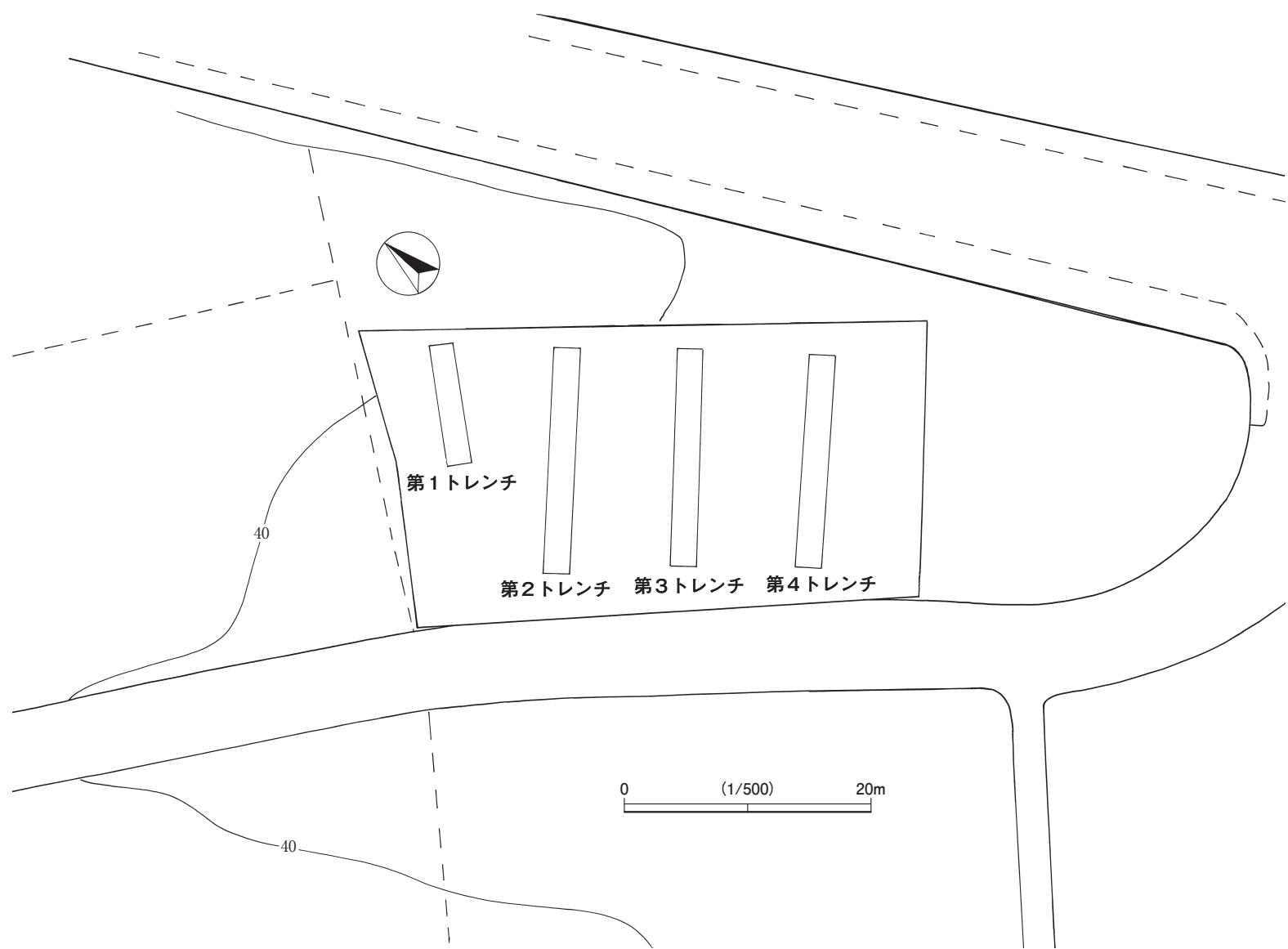
今回調査された当遺跡からは、遺構は検出されなかった。遺物は、各トレンチから少量出土しており、掲載可能な遺物として、土師器1点及び縄文土器3点を掲載した。今回の調査区は、小池麻生遺跡の範疇であるが、遺構の空白区であることが伺われる。

第11表 小池麻生遺跡（2500地点）第1・2・4トレンチ出土遺物観察表

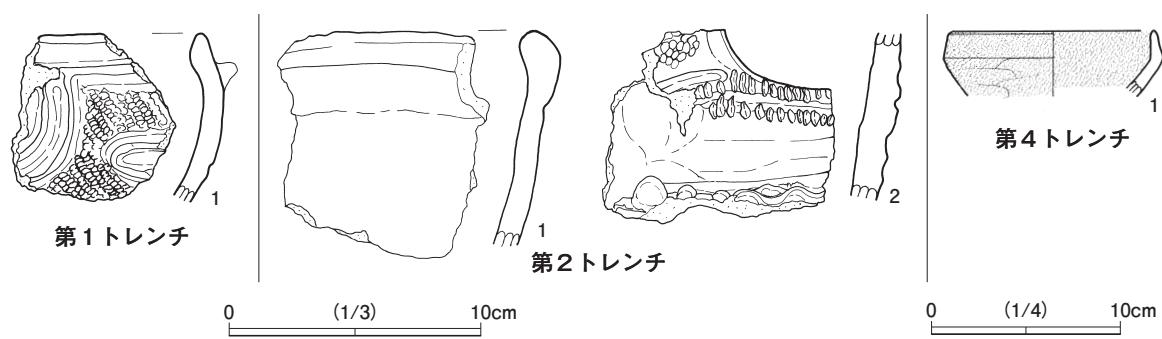
遺構番号	挿図番号	種類	器種	遺存度	胎土	色調		型式名
						外面	内面	
第1トレンチ	17-1	縄文	深鉢	口縁片	スコリア 白色粒	暗茶褐色	暗茶褐色	加曾利E式
第2トレンチ	17-1	縄文	深鉢	口縁片	白色粒少々	赤褐色	黒褐色	加曾利E式
第2トレンチ	17-2	縄文	深鉢	胴部片	白色粒 雲母	明黄褐色	暗黄褐色	加曾利E式

遺構番号	挿図番号	種類	器種	遺存度	計測値(cm)			胎土	調整		色調		備考
					口径	器高	底径		外面	内面	外面	内面	
第4トレンチ	17-1	土師器	壺	10/1遺存	(11.1)	(3.4)		白色粒	ヘラ削り	ナデ	赤褐色	赤褐色	内外赤彩



第16図 小池麻生遺跡（2500地点）トレンチ配置図



第17図 小池麻生遺跡（2500地点）遺物実測図

## 第5章 小池麻生遺跡（上人塚74-1地点）

### 1. 調査に至る経緯

今回の調査は、千葉県山武郡芝山町新井田字上人塚74番地1他に、航空機騒音移転に伴う個人住宅建設を計画したところによる。平成6年4月11日にから芝山町教育委員会に住宅用地内の「埋蔵文化財の所在の有無及びその取扱いについて（照会）」が提出された。

千葉県教育委員会及び芝山町教育委員会では、当該地は『千葉県埋蔵文化財分布地図（2）』と照会し、現地踏査を行った結果、照会地は周知の埋蔵文化財包蔵地である「小池麻生遺跡」が所在することが確認され、遺跡有りの回答を平成6年5月15日付けで行った。

この回答をもとに、遺跡の取り扱いについて、千葉県教育委員会・芝山町教育委員会・との三者で協議を行った結果、遺跡の性格及びその広がりを掌握する目的で確認調査を実施し、今後の検討資料とすることとした。

発掘調査は、千葉県教育委員会及び芝山町教育委員会の指導のもと、財団法人山武郡市文化財センターが受託事業として実施することになり、と埋蔵文化財発掘調査に関する業務（確認調査）の委託契約を締結した。

調査は、調査課長田村 隆、調査課長補佐小林清隆の指導のもと、調査研究員海保孝則が実施した。

### 2. 検出された遺構と遺物

本遺跡は、調査対象面積900m<sup>2</sup>で、そのうち約90m<sup>2</sup>の確認調査を平成6年7月18日から同年7月20日まで実施した。当該地区から古墳の周溝1基が検出された。また、遺物は出土しなかった。

## 第6章 小池麻生遺跡（上人塚74-1地点）<二次>

### 1. 調査に至る経緯

は、千葉県山武郡芝山町新井田字上人塚74番地1に、個人住宅建設を計画した。当該地は『千葉県埋蔵文化財分布地図（2）』と照会し、現地踏査を行った結果、照会地は周知の埋蔵文化財包蔵地であり、平成6年度に発掘調査を実施した「小池麻生遺跡（74-1地点）」の隣接地であることが確認され、遺跡有りの回答を行った。

工事に先立ちより平成23年1月24日付けで、文化財保護法93条に基づく発掘届（土木工事の届出）の提出を受け、千葉県教育委員会へ進達した。その結果、平成23年1月31日付けの通知により工事着手前に発掘調査を実施するように指示された。これにより、遺跡の取り扱いについてと協議を行い、遺跡の性格を把握する目的で確認調査を実施することになった。

調査組織は以下の通りである。

《芝山町教育委員会》（平成22年度）

教育長：五木田正照

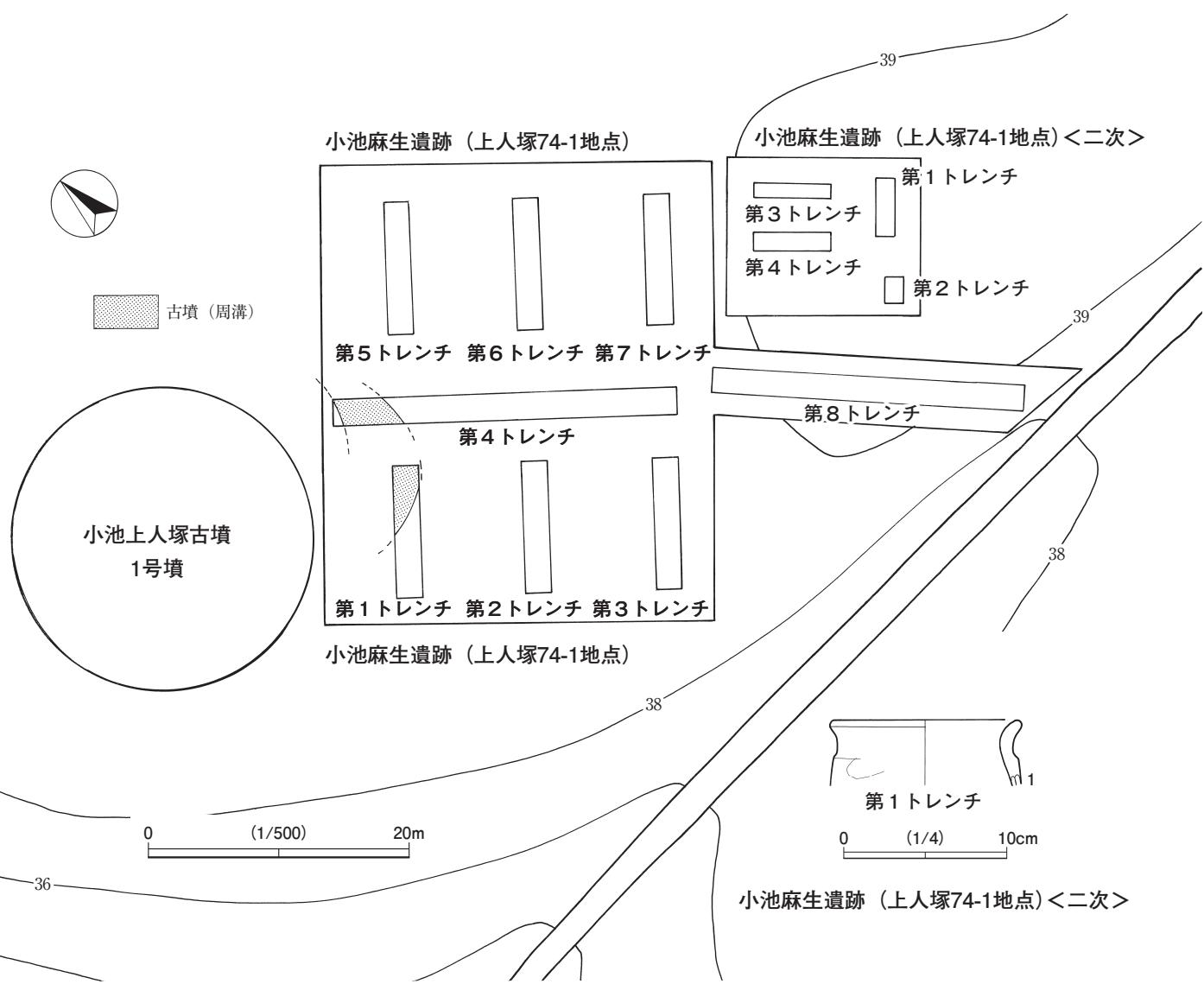
社会教育課長：土屋 徳男

社会教育課学芸員：奥住 淳

調査担当：渡辺 修司

## 2. 検出された遺構と遺物

本遺跡は、調査対象面積170m<sup>2</sup>で、そのうち24m<sup>2</sup>の確認調査を平成23年2月4日に実施し、遺構は検出されず、計測可能な土師器1点を含む土器数点が出土した。



第18図 小池麻生遺跡（上人塚74-1地点）・小池麻生遺跡（上人塚74-1地点）<二次>  
トレンチ配置図及び遺物実測図

第12表 小池麻生遺跡（上人塚74-1地点）<二次>第1トレンチ出土遺物観察表

遺構番号	挿図番号	種類	器種	遺存度	計測値(cm)			胎土	調整		色調	
					口径	器高	底径		外面	内面	外面	内面
第1トレンチ	18-1	土師器	甕	口縁部1/20遺存	(11.7)	(4.0)		白色粒多	ヘラ削り	ナデ	暗赤褐色	黒赤褐色

## 第7章 小池麻生遺跡（上人塚63地点）

### 1. 調査に至る経緯

芝山町が、千葉県山武郡芝山町新井田字上人塚63番地の芝山小学校用地内に、学童施設建設及び駐車場造成を計画したことによる。建設予定計画図を『千葉県埋蔵文化財分布地図（2）』と照会したところ周知の埋蔵文化財包蔵地である「小池麻生遺跡」が所在することを確認し、その旨を回答した。

これにより平成25年12月17日付けで文化財保護法第94条に基づく発掘届（土木工事の届出）の提出を芝山町長相川勝重より受け、遺跡の取り扱いについて関係機関と協議を行った。

その結果、遺跡の性格を把握する目的で確認調査を芝山町教育委員会が実施し、今後の検討資料とすることとした。調査対象面積は、850m<sup>2</sup>で平成25年12月21日に実施し竪穴住居跡2軒、塚1基を検出した。

この結果を受け、協議を重ねた結果、現状保存が困難な建物部分の塚1基の本調査を実施することになった。調査期間は、平成26年3月19日から同年3月31日で、対象面積600m<sup>2</sup>である。

調査組織は以下の通りである。

《芝山町教育委員会》（平成25年度）

教育長：五木田正照

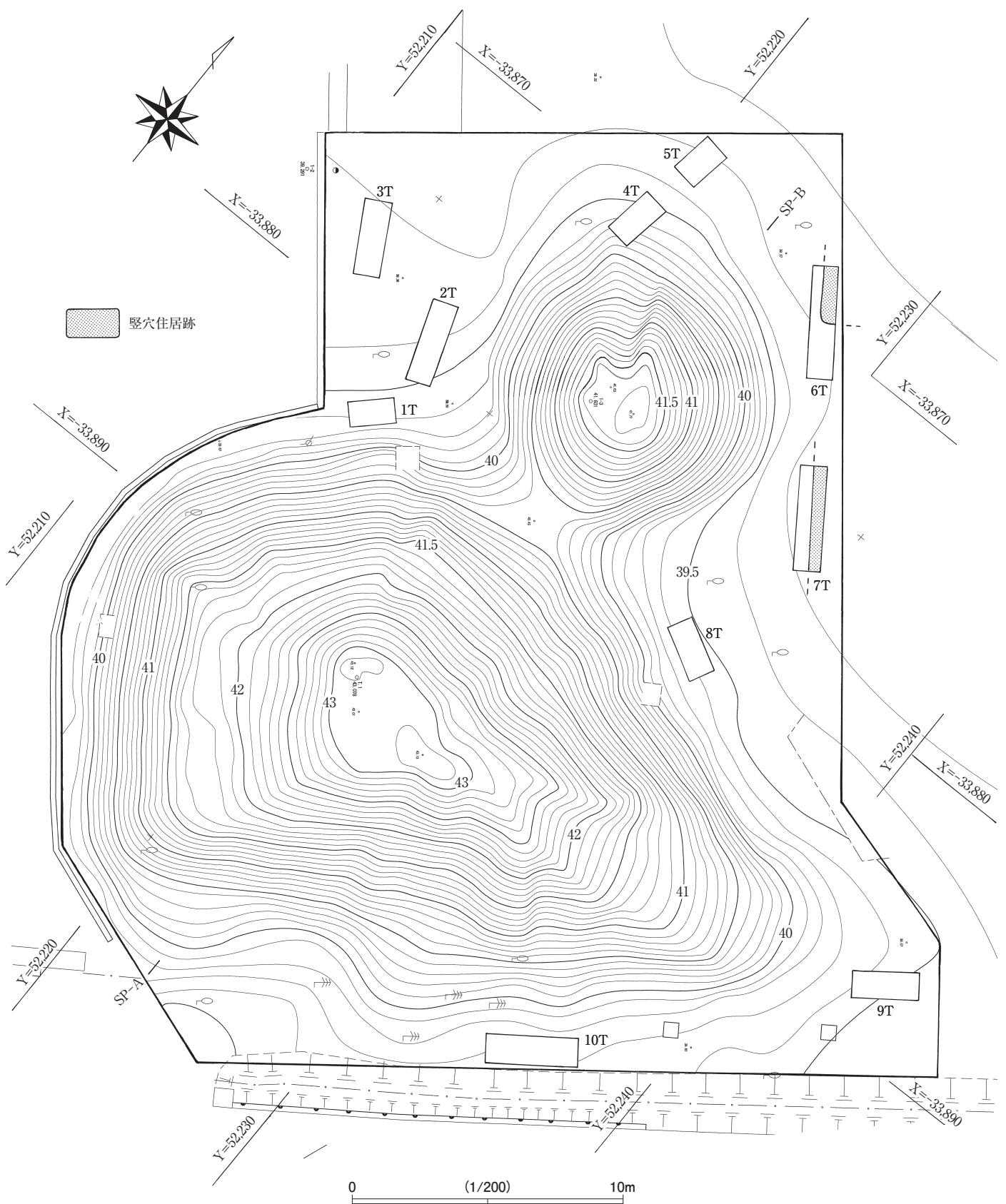
教育課長：矢部 熱

社会教育係長：奥住 淳

調査担当：渡辺 修司

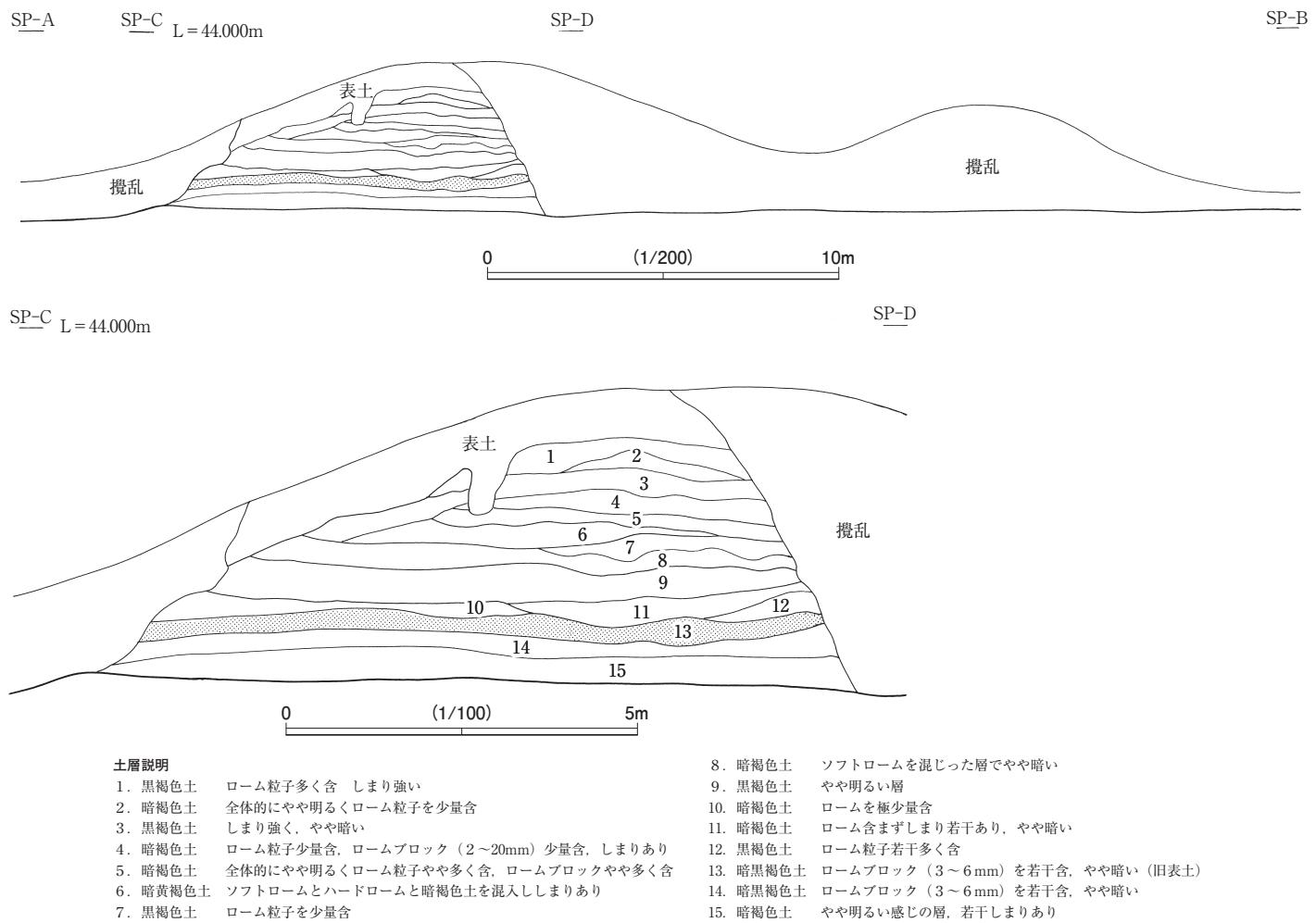
### 2. 検出された遺構と遺物

前述したように、確認調査を実施した当遺跡からは、古墳時代の竪穴住居跡2軒、塚1基が検出された。その後、塚1基の調査を行い、終了後に一部確認トレンチ調査を行ったが、他の遺構は検出されなかった。また、計測不能な古墳時代の土師器片が数点出土した。



第19図 小池麻生遺跡（上人塚63地点）塚及び確認トレンチ配置図

## 小池麻生遺跡（上人塚63地点）



第20図 小池麻生遺跡（上人塚63地点）断面図

# 報告書抄録

ふりがな	こいけちくまいぞうぶんかざいちょうさほうこくしょ (3)
書名	小池地区埋蔵文化財調査報告書 (3)
副書名	小池麻生遺跡 (2541-4地点) 小池麻生遺跡 (富士見2543地点) 小池麻生遺跡 (2500地点) 小池麻生遺跡 (上人塚74-1地点) 小池麻生遺跡 (上人塚74-1地点) <二次> 小池麻生遺跡 (上人塚63地点)
シリーズ名	芝山町埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第11集
編集者	渡辺修司
編集機関	芝山町教育委員会
所在地	〒289-1624 千葉県山武郡芝山町小池973 TEL0479-77-1861
発行機関	芝山町教育委員会
所在地	〒289-1624 千葉県山武郡芝山町小池973 TEL0479-77-1861
発行年月日	西暦2022年1月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 °・"	東經 °・"	調査期間	調査面積 m <sup>2</sup>	調査原因
		市町村	遺跡番号					
こいけあそういせき 小池麻生遺跡 (2541-4地点)	ちばけんさんぶぐん 千葉県山武郡 しばやまちこいけあそ 芝山町小池字麻生 ぱんち 2541番地4	12409	山文セ -85	35° 41' 33"	140° 24' 46"	確認調査 1995.09.18～ 1995.09.22 本調査 1995.10.02～ 1995.10.13	確認調査 59/593 本調査 上層114	航空機騒音移 転に伴う個人 住宅建設
こいけあそういせき 小池麻生遺跡 (富士見2543地点)	ちばけんさんぶぐん 千葉県山武郡 しばやまちこいけあ 芝山町小池字 ふじみ見2543番地 ほか 5他	12409	山文B -18	35° 41' 34"	140° 24' 44"	確認調査 1993.08.10～ 1993.08.18 本調査 1993.09.06～ 1993.10.15	確認調査 98/981 本調査 上層280	航空機騒音移 転に伴う個人 住宅建設
こいけあそういせき 小池麻生遺跡 (2500地点)	ちばけんさんぶぐん 千葉県山武郡 しばやまちこい 芝山町小池字 ぱんち 2500番地	12409	山文セ -158	35° 41' 35"	140° 24' 45"	1998.12.22	確認調査 92/925	航空機騒音移 転に伴う個人 住宅建設
こいけあそういせき 小池麻生遺跡 (上人塚74-1地点)	ちばけんさんぶぐん 千葉県山武郡 しばやまちにいだ 芝山町新井田字 じょうにんづか ぱんち ほか 上人塚74番地1他	12409	山文セ -67	35° 41' 35"	140° 24' 34"	1994.07.18～ 1994.07.20	確認調査 90/900	航空機騒音移 転に伴う個人 住宅建設
こいけあそういせき 小池麻生遺跡 (上人塚74-1地点) <二次>	ちばけんさんぶぐん 千葉県山武郡 しばやまちにいだ 芝山町新井田字 じょうにんづか ぱんち ほか 上人塚74番地1他	12409	芝-008	35° 41' 36"	140° 24' 35"	2011.02.04	確認調査 24/170	個人住宅建設
こいけあそういせき 小池麻生遺跡 (上人塚63地点)	ちばけんさんぶぐん 千葉県山武郡 しばやまちにいだ 芝山町新井田字 じょうにんづか ぱんちほか 上人塚63番地他	12409	芝-021	35° 41' 36"	140° 24' 36"	2014.03.19～ 2014.03.31	本調査 上層600	学童施設建設 及び駐車場造 成

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
小池麻生遺跡 (2541-4地点)	集落跡	旧石器時代		剥片	一辺7mを越える大型住居跡で、間仕切り、貯蔵穴等の施設を有している。
		縄文時代		縄文土器 (中期・後期)	
		古墳時代	竪穴住居跡 1軒	土師器・土製品・ 鉄製品	
要 約		航空機騒音移転に伴う個人住宅建設に先行して(財)山武郡市文化財センターが、平成7年度に確認及び本調査を実施した小池麻生遺跡(2541-4地点)の発掘調査報告書である。今回確認調査時に検出した遺構は、竪穴住居跡9軒で、その内、古墳後期1軒の竪穴住居跡の本調査を実施した。本遺跡周辺では、数多く調査が実施されて他の調査地点と同様の竪穴住居が検出された。又、縄文時代の遺構は検出されなかった。			
小池麻生遺跡 (富士見2543地点)	集落跡	縄文時代		矢じり	小池麻生遺跡の中央部に位置し、古墳時代後期の集落であると思われる。
		古墳時代	竪穴住居跡 6軒	土師器・土製品・ 石製品・鉄製品	
要 約		航空機騒音移転に伴う個人住宅建設に先行して(財)山武郡市文化財センターが、平成5年度に確認及び本調査を実施した小池麻生遺跡(富士見2543地点)の発掘調査報告書である。今回確認調査時に検出した遺構は、竪穴住居跡9軒で、その内、6軒の竪穴住居跡の本調査を実施した。本遺跡周辺では、数多く調査が実施されて他の調査地点と同様の竪穴住居跡が検出されている。			
小池麻生遺跡 (2500地点)	包蔵地	縄文時代		縄文土器(中期)	小池麻生遺跡のほぼ中央に位置している。今回調査された地区からは遺構は検出されなかった。今回の調査範囲は遺構の空白地であると伺われる。
		古墳時代		土師器	
要 約		航空機騒音移転に伴う個人住宅建設に先行して(財)山武郡市文化財センターが平成10年度に確認調査を実施した小池麻生遺跡(2500地点)の発掘調査報告書である。地形に沿ってトレンチを設定し確認調査を実施した。その結果、近接地では多くの調査が実施され遺構を検出されているが、本地点では遺構は検出されなかった。集落跡の範疇であるが、遺構の空白部分であることが伺える。			
小池麻生遺跡 (上人塚74-1地点)	古墳	古墳時代	古墳1基 (周溝)	なし	調査区の北端から、上人塚古墳の周溝が検出された。幅4m程度であり、古墳は直径40mを越す円墳と思われる。また調査区の東に方墳が存在したと伝えられている。
要 約		航空機騒音移転に伴う個人住宅建設に先行して(財)山武郡市文化財センターが平成6年度に確認調査を実施した小池麻生遺跡(上人塚74-1地点)の発掘調査報告書である。地形に沿ってトレンチを設定し確認調査を実施した。その結果小池上人塚1号墳の周溝の一部が検出された。			
小池麻生遺跡 (上人塚74-1地点) <二次>	包蔵地	古墳時代		土師器	今回の調査では遺構が検出されなかったが、本調査区より北東側の隣接地では平成6年度に調査が行われ、古墳1基(周溝)が確認された。今回の調査範囲は遺構の空白地である。
要 約		個人住宅建設に先行して芝山町教育委員会が、平成22年度に実施した小池麻生遺跡(上人塚74-1地点)<二次>の確認調査報告書である。隣接地を平成6年度に「小池麻生遺跡(上人塚74-1地点)」として(財)山武郡市文化財センターが発掘調査を実施していく今回は<二次>と呼称した。地形に沿って4本のトレンチを設定して確認調査を実施した。その結果、遺構は検出されず計測可能な土師器1点を含む土器数点を出土した。			
小池麻生遺跡 (上人塚63地点)	集落塚跡	古墳時代	竪穴住居跡 2軒	土師器	今回の調査の結果、塚及び古墳時代の集落跡が検出された。
		中近世	塚1基		
要 約		学童施設建設及び駐車場造成に先行して芝山町教育委員会が、平成25年度に確認及び本調査(塚)を実施した小池麻生遺跡(上人塚63地点)の発掘調査報告書である。近接地を平成22年度に「小池麻生遺跡(2555-3地点)」として芝山町教育委員会が発掘調査を実施し、小池上人塚4号墳が検出されている。今回の確認調査では塚と古墳時代の集落跡が検出された。その内、塚は北側が現代の盛土であったため構築時の規模は正確に把握できなかった。遺物は計測不可能な小破片の土師器が数点出土した。			

# 写 真 図 版







1. 調査前



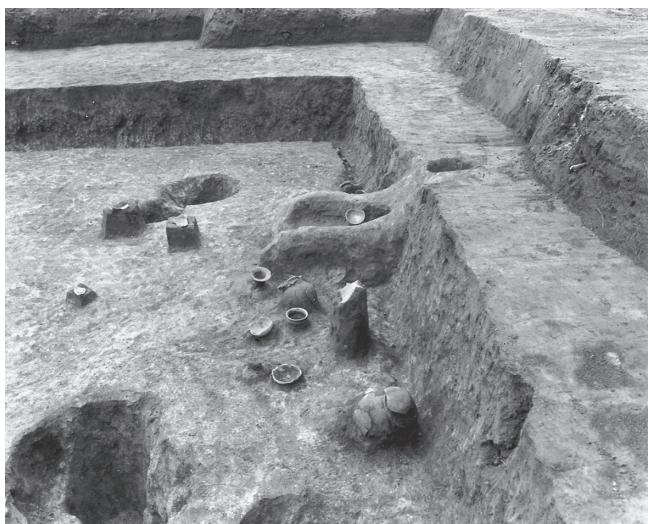
2. H-001遺物出土状況 (1)



3. H-001遺物出土状況 (2)



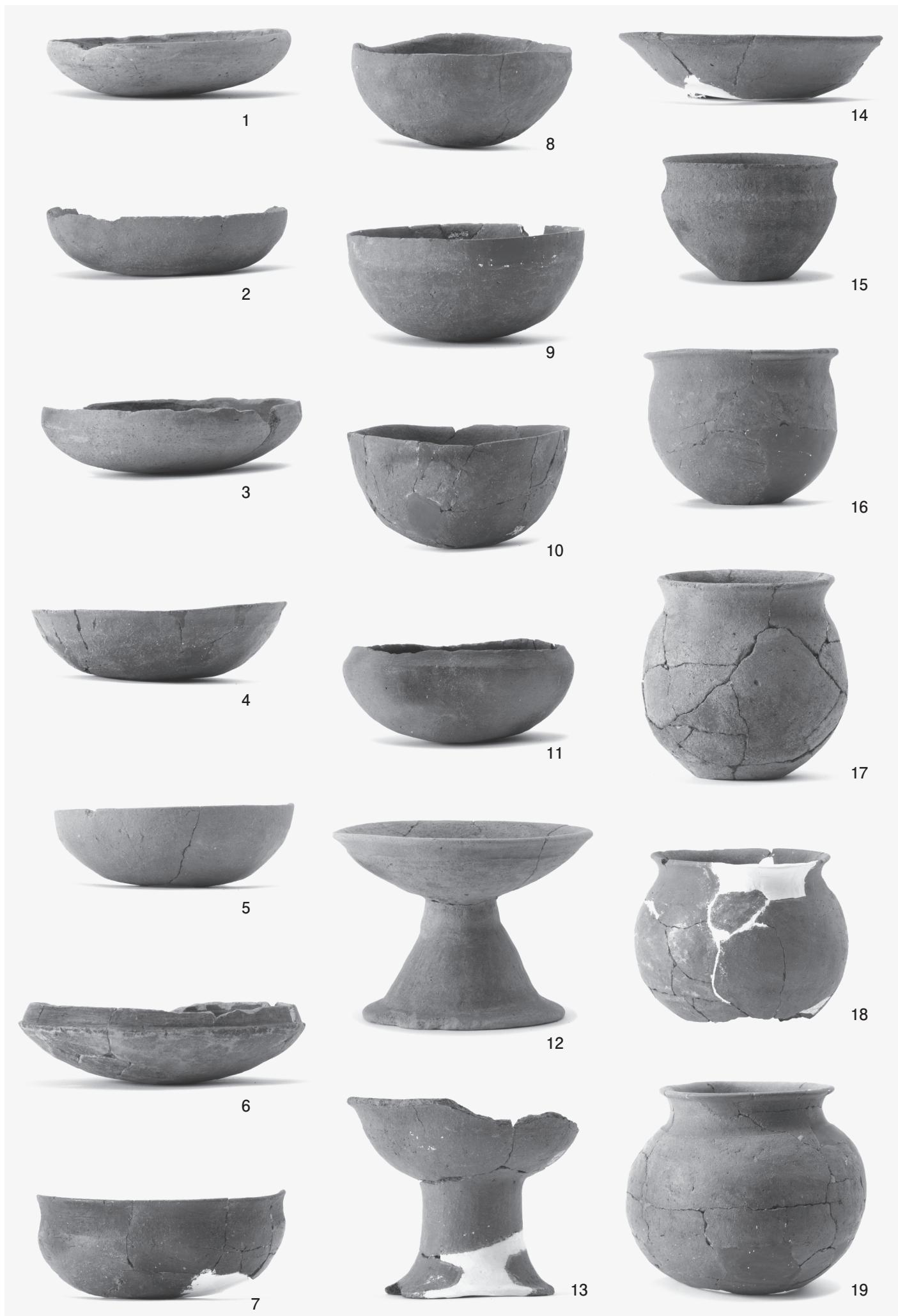
4. H-001カマド遺物出土状況 (1)

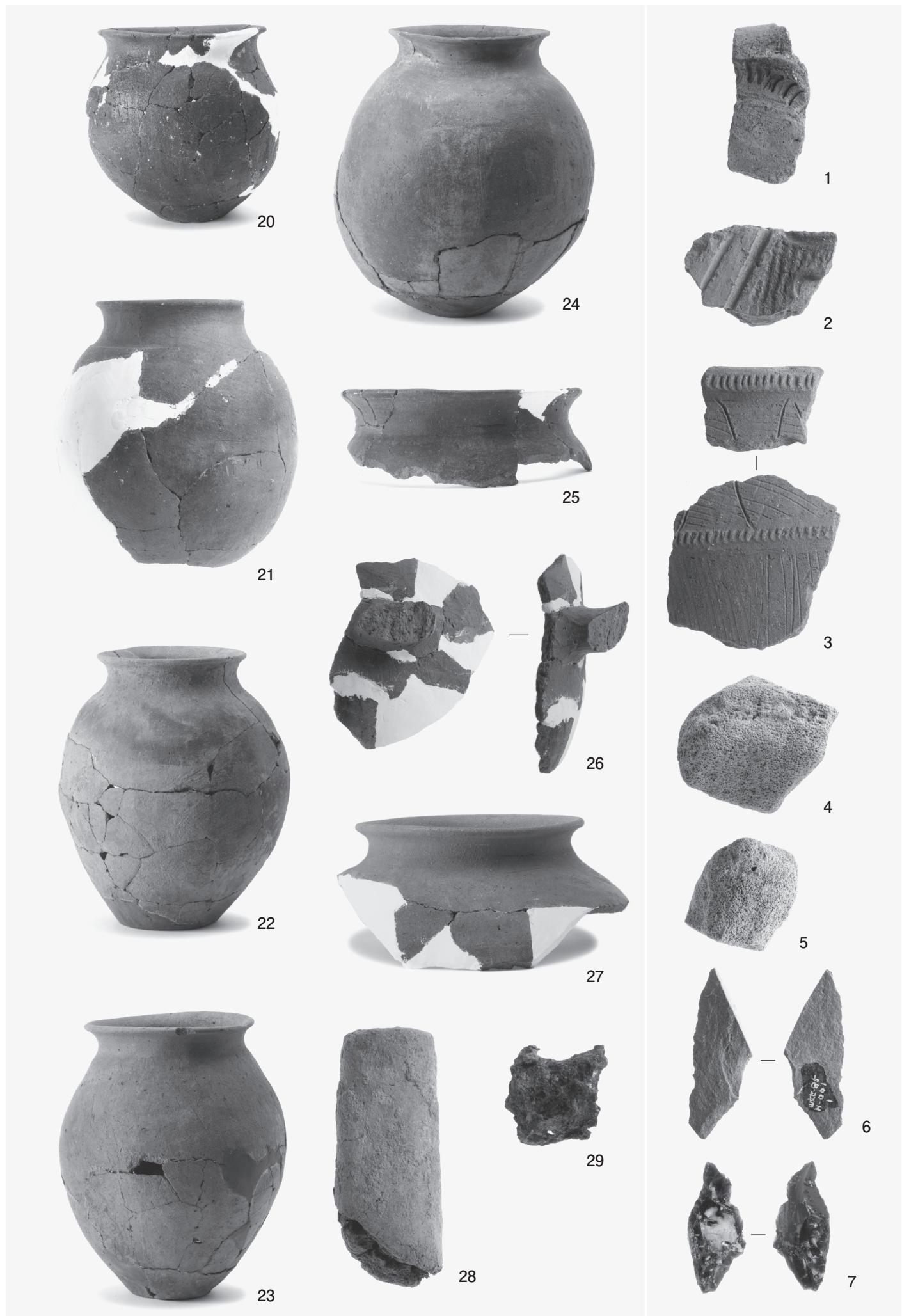


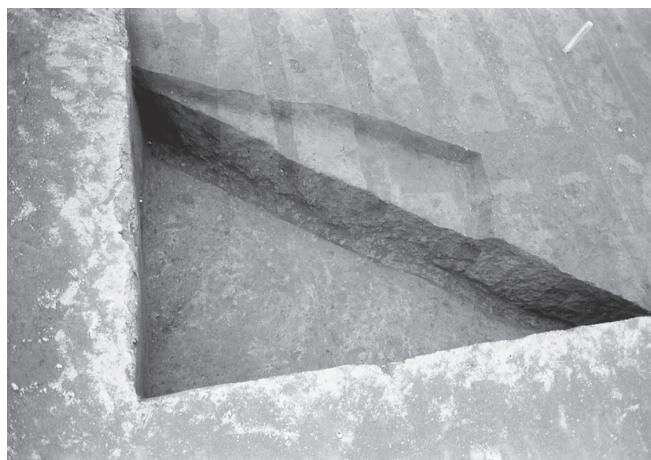
5. H-001カマド遺物出土状況 (2) (西より)



6. H-001貯蔵穴遺物出土状況







1. H-001



2. H-002



3. H-003



4. H-004



5. H-005



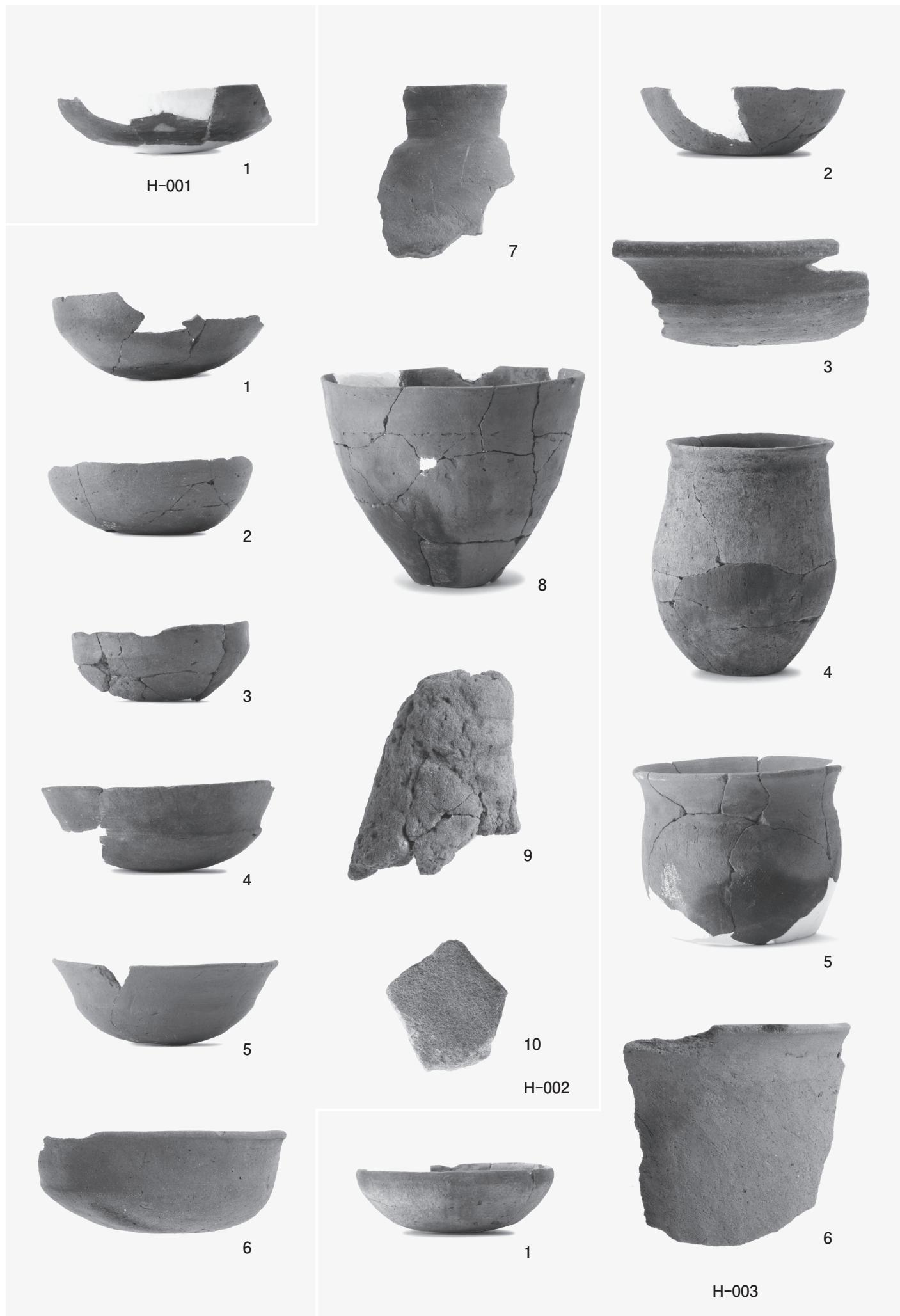
6. H-006



7. H-003～H-006



8. 調査風景



H-001・H-002・H-003出土遺物（1）



7



1



1



2

H-004



8



1



9



2



10



3



3



4



5

H-006



11



4



5

H-003

H-005

遺構外

H-003・H-004・H-005・H-006・遺構外出土遺物（2）



1. 調査前



2. 第3トレンチ（北東より）



3. 第4トレンチ（北東より）



4. 調査風景



5. 第1トレンチ・第2トレンチ・第4トレンチ出土遺物



1. 調査前



2. 第1トレンチ



3. 第4トレンチ



4. 第7トレンチ

小池麻生遺跡（上人塚74-1地点）



1. 調査区近景



2. 第1トレンチ (東より)



3. 第3トレンチ (南より)



第1トレンチ

小池麻生遺跡（上人塚74-1地点）<二次>



1. 調査前



2. 塚トレンチ（北より）



3. 塚断面（南より）



4. 塚断面（東より）



5. トレンチ（南より）



6. 塚断面（東より）



7. 第5トレンチ（北より）



8. 調査風景

芝山町埋蔵文化財調査報告書 第11集

千葉県山武郡芝山町

### 小池地区埋蔵文化財調査報告書 (3)

小池麻生遺跡 (2541-4地点)

小池麻生遺跡 (富士見2543地点)

小池麻生遺跡 (2500地点)

小池麻生遺跡 (上人塚74-1地点)

小池麻生遺跡 (上人塚74-1地点) <二次>

小池麻生遺跡 (上人塚63地点)

---

印 刷 令和4年1月24日

発 行 令和4年1月31日

発 行 芝山町教育委員会

編 集 芝山町教育委員会  
千葉県山武郡芝山町小池973  
TEL 0479-77-1861

印 刷 株式会社 弘 文 社  
製 本 千葉県市川市市川南2-7-2  
TEL 047-324-5977

---





